THE FIRST MAGAZIN OF WOMAN'S MOVEMENT
IN JAPAN.

婦人問題研究專門雜誌

SHIN SHIN FUJIN

新眞婦人

六月號

〔第廿六號〕

貞操に就て　西川文子
私の要求する女　與謝野寛
『女子が參政權を得なば』　平木白星
喜捨　小此木武子
晩年のナイチンゲール女史　西川光次郎
手紙の裏　玉露女
工女の轢死　大月高陽
妹への遺書　覓生
生花について　尾崎恒子
十二歳から廿一歳までの女　みなつくし

大正四年六月一日發行(毎月一回一日發行)大正二年四月二十六日(第三種郵便物認可)大正四年五月二十八日印刷納本

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前
林、峰間、兩副長ハ目下當院に在勤
東京麹町區三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町六二番
東洋内科醫院

院長　醫學士高田畊安

電話ちがさき二番
南湖院
相州茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

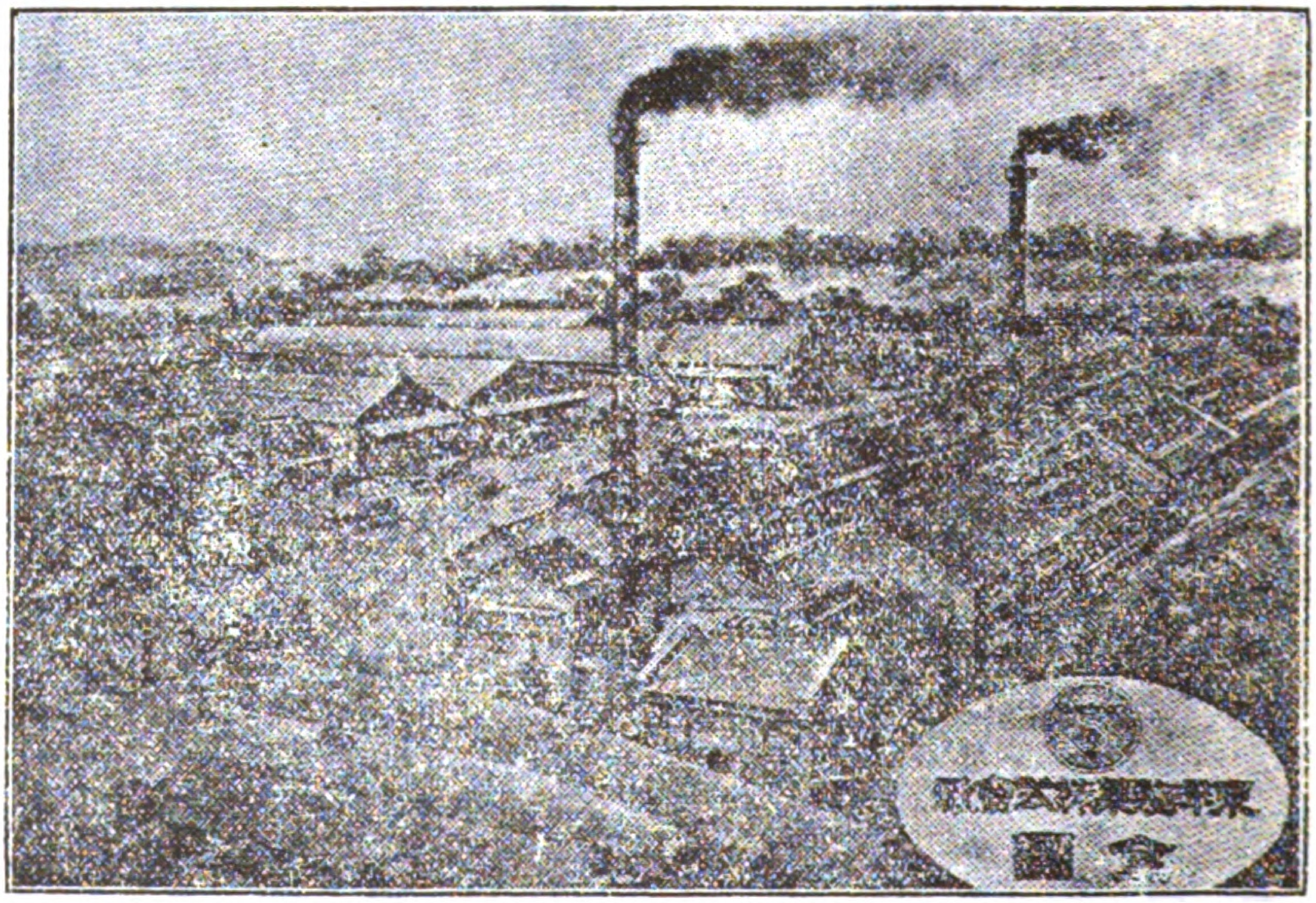
ビスケット
ドロップス

品質優良にして
好評嘖々として
歡迎せらる

新製品
ピクニック
壹個 金五錢

ピクニックは野外散歩。遠足。運動會等に携帶行糧として至極適當

當社製造品は到る處信用ある菓子舖食料品店に在り



東京品川御殿山

東洋製菓株式會社

電話芝二三三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六月號目次

口繪　婦人問題大演說會の光景

くる〳〵記　西川文子…(二)

貞操に就て　同　(四)

私の要求する女　與謝野寛…(六)

『女子が參政權を得なば』(梗概)　平木白星…(一一)

タゴールの女性　中尾清太郎…(一三)

妹への遺書　寛生…(一八)

晩年のナイチンゲール女史　西川光次郎…(二二)

婦人界小評論　……(二五)

喜捨　小此木武子…(二七)

手紙の裏　玉露女…(三〇)

偶感　蘇泉子……(三三)

少年團……(三四)
工女の僕死(下)　大月高陽…(三六)
動物愛護會例會……(三九)
新眞婦人俳句……(四〇)
新眞婦人短歌……(四一)
十二歳から廿一歳までの女(續)　みをつくし…(四二)
生花について　尾崎恒子…(四七)
公開の席上に醜業婦を侍せしむる勿れ　西川文子…(四九)
演說會スケッチ　立石萬枝……(五〇)
婦人問題演說會の印象　てんがう……(五一)
演說會から得た感想　久留天豪……(五二)
消息……(五三)
新刊紹介……(五四)

六月一日發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

誇るべき新刊

尾上柴舟先生著

短歌新講

定價金壹圓（郵稅八錢）

先生は新しき學術的基礎に立ちて、和歌を研究せられたるものにして、これ實に我國未曾有の事業と言はざるべからず。先生の本書に任せらるゝ事極めて大に、先生一家の歌學を大成せんとする、その一端なりと確言せらるゝに見ても、以て其内容を信憑するに足る。

大日本雄辯會編

講演資料 逸話集

定價金五拾錢（六錢）

演壇に立つ人は話題に富まねばならぬ。本書はこの講演向きの話題を集めたもので、古今東西の區別なく出來得る限り蒐集したものである。外に古今東西の俚諺格言を千有餘收めてある。出版以來好評嘖々たる所以のものは、蓋しその内容の天下に誇るべきものがあるからであると確信してゐるものである。

東京市本郷區駒込坂下町四八

大日本雄辯會

振替口座東京三九三〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本女子商業學校學監 嘉悅孝子先生新著

新刊忽三版

今日爲すべきこと

▼絹表紙上製優美 箱入全一册

定價金九十錢 送料金十錢

一刻の猶豫は百年の悔あり今日を思ひ明日を語るべからず

本書は著者が實驗上より得たる十年一貫の理想と主張を基礎とし國家と家庭の現狀と將來とに考へ、筆を女子根本の處世觀に起し修養のこと、家政のこと及び禮讓節義や調理案配に至る迄一般婦人の心得を切實に縷述し、新に走らず舊に怛まず、細を說き微を穿ち、中正穩健の婦道は一切を網羅して書中に躍動す。過渡期に於ける、娘や妻や母の不安は蓋し本書に依て始て進路の方向を定むるを得べし。速に一本を備へて今日直に之を行へ。

婦人必讀書類

○姙娠十ヶ月

□大友醫學士修産婆指田たね子編姙婦解剖模形圖挿入總振かな付

和綴極美本全一册

□正價金六十五錢送料八錢

○育兒三年

□高橋醫學士伊藤常子先生共著

和綴極美裝

金六十五錢 送料金八錢

○女子のふみ

□閨秀作家與謝野晶子女史著

好評十版

洋裝極美本

金四十五錢送料金八錢

實用と文學とを調示せる最新女用文範なり

發行所 東京日本橋檜物町 振替東京二三〇番 弘學館 大阪備後町四丁目 大阪九九〇八 金正堂

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ロンギー氏

▲肺病救濟

アドルフ博士新發見肺結核治療は醫藥界の新紀元

淋病。梅毒。子宮病。

経　生殖　脚氣。　トラホーム　腦病　神

申込所　日本藥學協會製藥部

東京本郷區丸山福山町

前判事法學士　荘田要二郎先生序
新眞婦人主筆　西川文子女史序
醫學士　佐々木金三郎先生序
ドクトル　鈴木薫先生跋

日本藥學協會主幹　鴨田脩治著

忽四版

産兒制限論

一名　避妊の研究

洋装美クロース金文美装
函入小包封送金八錢
正價金五拾錢

●少く産み多く教育せよとは産兒制限論の主眼なり、貧窮人の子澤山は子の爲めに益々貧窮に苦しむ戰慄すべき墮胎罪は何んの爲めに起るか、薄幸なる私生兒の增加するは何故なりや、今の生活難の聲は世界の隅から隅まで反響し、避妊法の研究は既に實行期に入りて成績顯著、本書之を説くこと簡にして要を得、略にして疎ならず本邦に於ける現下唯一の珍本なり乞ふ健兒を得んとする人は勿論母體の保護と而して遺傳の恐るべきを知らんとする人々は是非一讀あれ。

第四版

◉陸軍教授　西村豐序　鴨田脩治著

どもり矯正法

洋綴金字入
美本
價金四十錢

本書は墺國醫學博士コォン氏の「ドモリ」矯正法に則り著者が研究の結果世に公にせし者也此書に就て矯正せば如何に「ヒドキドモリ」の人にても數十日の練習にて矯正し得る良書也。

發行所　東京市本郷區丸山福山町四番地　日本藥學協會

與謝野晶子新著

有島生馬氏畫

新詩歌集

さくら草

三六判紙數三百頁

函入美本挿畫一葉

定價金壹圓

送費金八錢

■わが世界他人の世界なぞもかく百億萬里へだたれるらん

■戀といふ不死の大鳥羽ばたきはせねど啼かねど疑ふなゆめ

■人の世をわが去らん時鳴る鐘に思ひいたりぬ香料のため

初版 再版 賣切 三版出來

女史の近詠四百餘首近作の新詩三十五篇を以てこの一巻をなす。みな「春泥集」「夏より秋へ」以後著者が歸朝後の消息を語るものにして、前二著より更に微に、更に深し。女史の心はしろかねの細き線の如く事にふれ、折にのぞみて喨々の音を放つ。「アウギユストの一擊」以下の新詩は女史にとりて全く新らしき世界の現出にして近代詩の特色著しきものなり。近時の女史が内部生活を知る絶好著として大方に薦む。

發行所 東京市日本橋區檜物町九番地 東雲堂書店 電話本局一八七一 振替貯金東京五六一四一

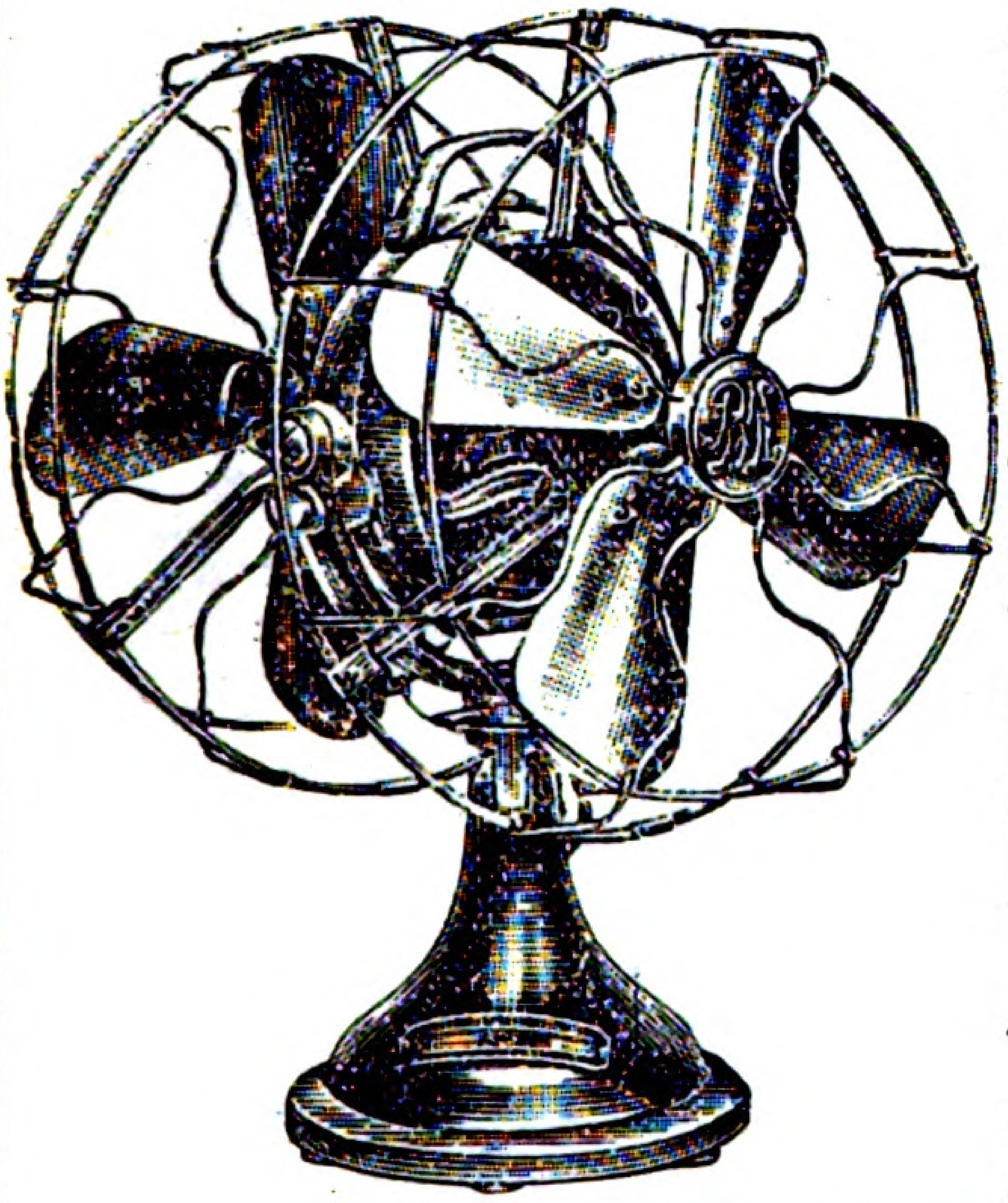
Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

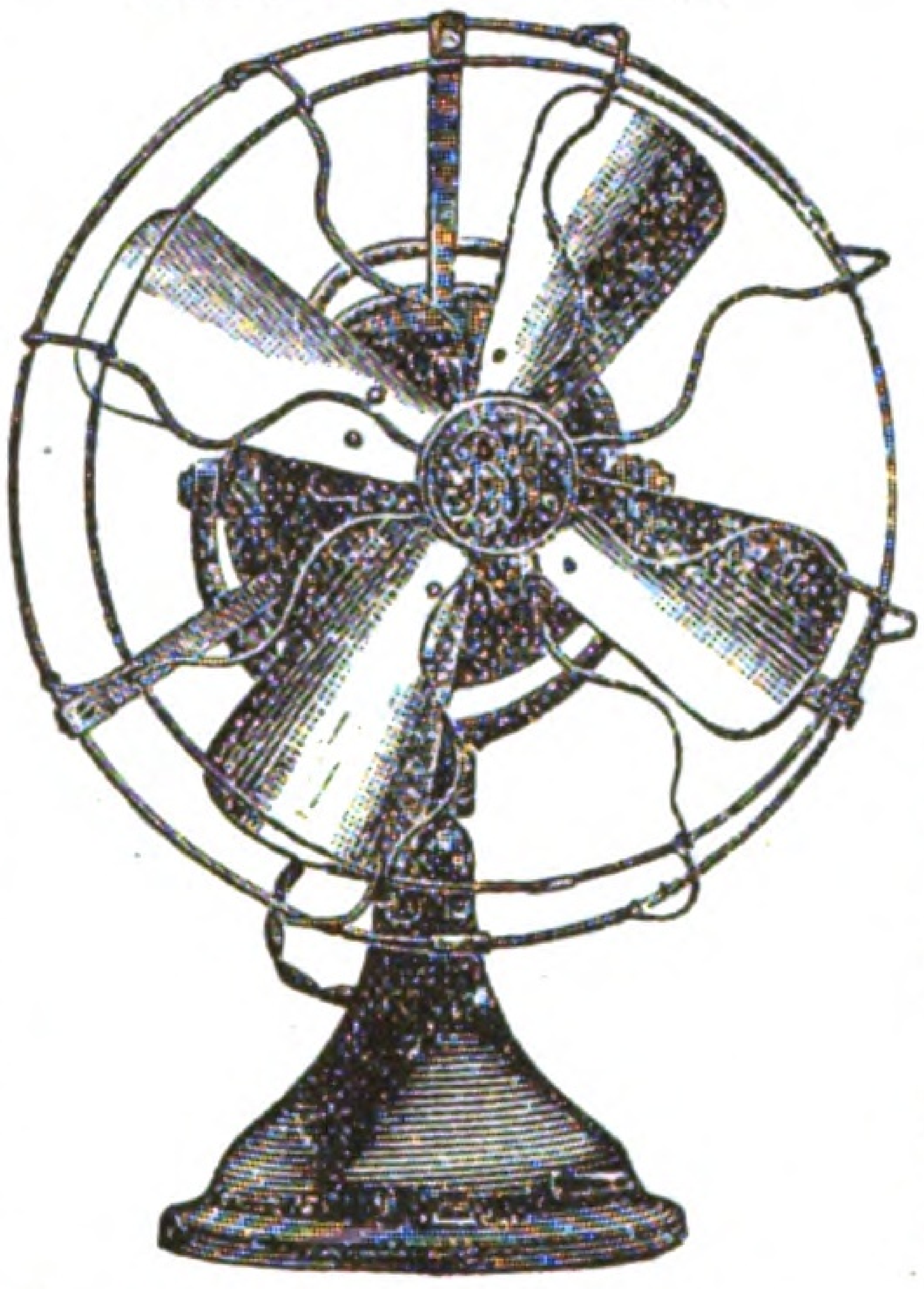
The Best Fan Motors

TRADE **BK** MARE

兩羽電氣扇



普通形卓上電氣扇



Desk and Braacket Fan,
12 inche and 16 inche.

是眞ニ模範的國產品（我國唯一の特許扇風機外國品に比して毫も遜色なし）

專賣特許
第二六一二一號
第二六一二二號
第二七五七九號
各國特許出願中

第二九一九三號
第三一二五七號
第三一九〇一號
第三一九〇二號

實用新案登錄
第三一九〇三號
第三二五〇七號
第三二五二六號
第三三九三一號

特色

一、成績　頗る優良にして回轉圓滑風力強き割合に電氣の費消甚だ少なし

一、構造　堅牢にして永年使用に堪ゆ

一、體裁　優美高尚にして室內裝飾に適す

一、應用　自在にして調節自由に强弱を變ずることを得

一、種類　十二吋羽根、十六吋羽根、交流用、直流用普通形及び自働回轉式兩羽根付き等數種あり

東京大正博覽會にて於て多數扇風機出品者ありたれども受賞の榮譽を負ひたるは獨り弊商會製品あるのみ

在庫豐富

豫約及多數御注文に對しては特に割引仕候、御申越次第目錄進呈可仕候

サンデン電氣商會本店

東京市京橋區尾張町二丁目十五番地
電話新橋二四二二番
振替口座東京一八四七三番

支店

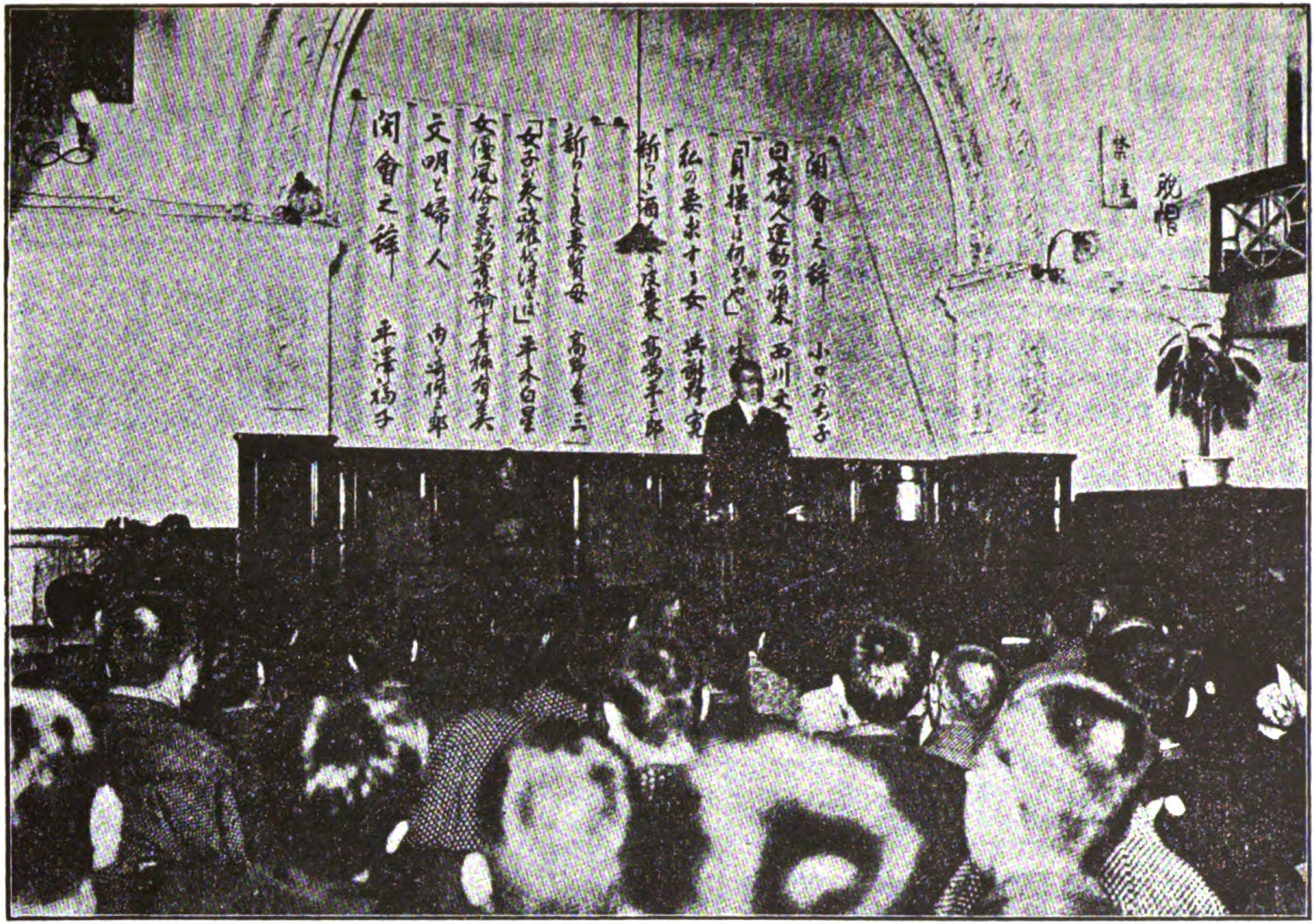
東京市日本橋區吳服町十八番地
電話本局一九五六番

大阪市東區心齋橋筋博勞町南入
電話南二二〇五番　振替口座大阪七三四四番

横濱市吉田町一丁目二十九番地　電話一九三一番

電氣器具材料製造販賣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



青年會館に於ける婦人問題大演說會の光景△演壇上の人は與謝野寛先生

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説 毒藥

青柳有美葦上修原田琴子天野千技子片野珠子諸氏序

前、扶桑新聞記者 松本青峰氏著

考ふる可き問題

時代は『青鞜』と言ふ雜誌を產んだ。就中名古屋の新らしい女は、飽迄も豐満な肉體とロマンチックな技巧とを以て、絕えず執固く熱い〳〵戀をいぢり散らしてゐる。此書は著者が同地に新聞記者たりし、過去一年間に遭遇された事實を、其儘創作に上せられたもので、恰も熱湯の沸き返るが如き記者生活の半面と、泣けど〳〵泣きても足らぬ熾烈なる戀の懊惱とを、最もデリケートな筆でみし〳〵と押詰められた、世にもまたなく悲痛を極めたものである。殊に此書の卷末を飾る『肉を迫る女』の如きは、正に我が大膽なる新らしき女の殿軍を爲すべき者と言つても差支へない。此書を讀む者は豁然として『徒らなる戀』の如何に自他を傷くるものなるかを悟らるゝであらう。戀は必ず弄ぶべきものでない。結婚を目的とせぬ戀は努めて避けなければならない。男女の交際は飽迄も嚴肅にやらぬとお互ひに取返しのつかぬ苦しい思ひをする。『毒藥』――『毒藥』――讀み返すたびに息が詰まる。

▼四六判總ルビ附六號 正價金九拾五錢▼
▼紙數四百十二頁函入 郵送料八錢▼

湯朝竹山人著 禪房の一年間

▼正價金三十五錢▲
▼郵送料四錢▲

珍らしい生活

▲俗中の俗に沒頭して粹とまで氣取りし著者が半生の過去を禪房裡に葬り枯淡靜寂の內觀生活を經驗せんとし油より水に轉ぜしこゝ一年間の記錄なり。身を雲堂に置いて心なほ舊生活に出入する著者の告白は輕妙の筆に託せられてさすがに人をして一讀過了せしむ(東京朝日新聞)

▲著者が一年間愛宕山下の如是禪房に立籠つて參禪生活をしたる紀念の產物にして趣味ある禪房生活は巧みに描寫されたるを見る。禪學に志す人には又面白き讀み物として迎ふるを得ん(時事新報)

▲流暢な書き方が禪房の空氣を遺憾なく現はしてゐる。さうして俗人と禪的生活の戰鬪氣分が讀者に面白い感興を浮ばせる(新愛知)

內藤千代子著 生ひ立ちの記

▼正價金七十錢▲
▼郵送料八錢▲

好評七版

美人！天才！男殺し！噫こんな女性を大勢欲しい。著者は此書で又一人男を殺すのだ。喜劇か悲劇か、凄い〳〵。

同著 惜春譜

近刊

東京市本郷區本郷四丁目 牧民社 振替東京二七八七五

秋山四郎先生著

車上の學問

業務に忙殺せらるる士が車上の時間を利用して精神上の慰安と處世上の知識を得る絶好の新著

現時文章に對話に交際場裡に廣く使用せらるゝ語句故事に對し實例を時事に取り人情世態に徴し議論諷刺滑稽諧謔を以て輕妙なる解説を下したる時代要求の讀物

袖珍美本　全一冊
定價　金四拾五錢
郵税　金四錢

東京・銀座
大日本圖書株式會社
郵便振替・東京二一九番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ブランドレス膏

打身りうまちす、諸關節の痛、神經痛、肩の凝其他疼痛一切の妙膏

なくなはればスグ治る

定價十錢・卅錢・五十錢

東京本鄕區弓町二ノ三

桃春堂

振替東京二六九〇番

リウマチス

▲難病にてあらゆる療法効なく御困りの御方に不思議に早く治る弊店家傳の……秘藥を御報らせします、御全快の皆様から日々澤山の感謝狀を下されます

東京市淺草觀音仲見世。天勇横通

井筒屋油店

電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科　梅毒科

泌尿器科　腎、膀胱、尿道、睪丸、攝護腺ノ疾患

生殖器科　男女生殖器機能障害

婦人科

日本橋區通一丁目白木屋出口前

電本局三九八〇番

中嶋醫院

院長　ドクトル メヂチーネ　中島鎌太郎

新設　芝區田村町十三番地愛宕下町通り

中嶋醫院

修養世界六月號

御即位大嘗會

典禮講話

- ▽御大典と佛教徒の使命……顧問 大内青巒△
- ▽皇位の繼承と即位踐祚……法學博士 清水澄△
- ▽御大典に就て……文學博士 萩野由之△
- ▽大嘗會の話……文學博士 關根正直△
- ▽御大禮に各宗統一の機關を設けよ……前教學部長 新井石禪△
- ▽登極の盛儀と國民の覺悟……曹洞宗中學林長 横尾賢宗△
- ▽道德の根本たる二大禮……文學博士 井上賴圀△
- ▽二大禮に就て……子爵 清岡長吉△
- ▽想起す明治天皇御即位當時の事情……侯爵 松方正義△
- ▽御即位式の沿革……官幣大社宮司 祝儀麿△
- ▽大和魂の發現……顧問 佐々木珍龍△
- ▽御大禮と佛耶兩教の相違……文學士 和田鼎△
- ▽御即位禮當日の諸儀……記者 花村小史△
- ▽大嘗會を行はせらるゝ正殿の建築方式……文學士 松平靜△
- ▽赤誠を以て報恩の實を擧げよ……文學博士 南條文雄△
- ▽御大禮と佛教……文學士 祥雲碓悟△
- △大典と佛教徒の覺悟……曹洞宗大學長 秋野孝道△
- ▽如何か奉祝せん……主筆 菅原洞禪△

六月一日發行
一部 税共 十三錢
半ケ年 七十五錢
一ケ年 一圓四十錢

發行所 東京市麻布區我善坊町 振替東京二三〇七四番 修養世界社

山本久助君著述

■大好評■

新刊 滋養經濟 米糠利用法

全一冊

中判洋装一七〇頁
通俗總ふりがな付
正價金四十錢
送料金四錢

（内容）●米糠鑑定法●貯藏法●調理法＝米糠飯炊法より糠團子油揚まで二百七十九種●飼料＝米糠の成分及消化分析よりミジンコ發生法まで二十八項●肥料＝米糠の三要素成分より盆栽肥料となす法まで六十六項●米糠を肥料として最も有効に施用する法●燃料●洗料●藥効＝糠油製法より鯉の衰弱療法まで十二項

近來食料品の價格著しく騰貴し生活亦困難となり下層社會は勿論所謂中産者の家庭に於ても美味上品なる食物は容易に之れを得る能はず自然と不味粗食に流るゝが故に遂には營養を害し身體を損ふ者尠からず蓋し之れが救濟法として安價にして滋養分に富める食品を得る事は最も緊要の事たるべし米糠は此點に於て最も現代的と云ふを得べく價格安く滋味多く而かも到る處に求むるを得る極めて便利有益のものなるが從來之れが食法を知らざる者多きは甚だ遺憾とする所本書乃ち之れが調理法を始め飼料、肥料、燃料、洗料等百般の利用法を詳述す大方の家庭に一本を備へ給はゞ第一經濟の點に於て利する所多大なるべし

好評嘖々

守屋貫雅君著 ■ 新訂 果樹接木の秘訣 中判洋装 全一册 正價二十錢 送料二錢

小高進君著 ■ 果樹剪定の秘訣 中判洋装 全一册 正價三十錢 送料二錢

石垣清一郎君著 ■ 最近 花壇草の研究 中判美装 全一册 正價五十錢 送料六錢

原田東一郎君著 ■ 和洋四季 草花培養法 大判總布 全一册 正價九十錢 送料八錢

東京 京橋 有隣堂書店 （電話京橋一〇五五） （振替東京六九六）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

安井哲子著

久堅（ひさかた）町にて

有田四郎氏装幀

四六判
天金上製
赤地クロス製

定價壹圓
郵税金八錢

「久堅町」は著者にとつては住み馴れたなつかしい第二の故郷です。著者はこゝで或は讀書し、或は靜思し、或は筆を執ります。その筆を把つて成つたものが一篇の「久堅町にて」であります。隨筆あり、論説あり、感想あり、いづれも著者が人格の反映、趣味の現はれであります。著者の思想を知りたい人、殊に女流一方の代表的思潮なり主張なりを窺はうとする人々は、是非この書を讀む必要があります。

新渡戸稻造述
人生雜感〔再版〕
定價八十錢　郵税八錢

林靜太譯
婦人の典型〔新刊〕
定價一圓　郵税八錢

東京割烹研究會編
和洋家庭割烹辭典〔新刊〕
定價一圓八十錢　郵税八錢

杉本伊作著
佛蘭西語自修書
近刊

■板元　東京尾張町京橋　警醒社書店　振替東京五五三番■

米國哲學博士（ドクトル・オフ・フイロソフイ）原口鶴子女史著

再版 着手六月十日 出來

樂しき思ひ出

四六判四百頁總布綴箱入

挿畫五葉頗美裝

著者肖像 コロタイプ刷口繪

金壹圓廿錢 小包料金八錢

■出來 法學博士和田垣謙三先生序

婦人の權威を語る名著

男子も女子も須く本書に接して無限の教訓と趣味とを享けよ

著者原口女史は日本婦人中最高學位の榮冠を有する人。本書必らずしも著者の學を語らずと雖、和田垣博士は曰く『世の苟も本書を繙かん者は其の男子たると女子たるとを問はず、而かも油然として興味の湧き來たり豁然として啓導開發さるる事予が本書に於けるが如けん。本書を江湖に推奨するは予が中心の喜にして又無上の光榮也』と。希くは有ゆる婦人と紳士と家庭よ皆須く著者が月桂冠を得るに至りし苦心と經驗と、又學者としての著者の追懷感想隨筆に耳を傾けよ。

エフイシエンシー調査會編

● エフイシエンシー能率增進法（三版出來）

菊判美裝二五〇頁 口繪六圖入全一冊 金七十錢送料八錢

東京市麴町區飯田町六丁目 春秋社書房 振替貯金口座東京二〇七八九番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人世界

六月一日發行 十卷七號 一冊十五錢 半年七冊一圓五錢 一年二圓五錢

◎三井十一家の夫人……寫眞對照

◎男子の職業選擇と母の注意……新渡戸博士

◎內職しらべ……本號より每號連載

◎家庭の不和を嘆く女の慰め……村田平三郎

◎帯と袴と羽織の新研究……村井弦齋

◎弱い娘を田舍に預けた成績……岸邊福雄

◎長篇家庭小說 銀笛（神籤の卷）……小杉天外

◎夢とは何か……福來博士

◎狐憑とは何か……井上博士

◎女は男より醜きもの……吉崎夫人

發行所 東京市京橋區南紺屋町二十番地 實業之日本社 振替口座三二六番

新眞婦人

六月號(第廿六號)

本誌の抱負

婦人の自覺を促すこと
婦人の職業を奬勵すること
家庭を立憲的組織と爲すこと
婦人倶樂部を設立すること

都市を、社會を、國家を母性化するに努めると、此等の希望を達せんが爲めに、私共は其の任に堪へ得るの婦人を養成せんことに、微力を致さんとして居るものであります。

されば本誌は、婦人の修養、家庭の改善、婦人の社會事業などに關する記事、論文を掲載し、斯種の雜誌としては、日本唯一のものであります。

又歐米婦人運動の雜誌を多數に取りよせ、其等の粹を拔きて、常に譯載に努めて居ます、之れ日本婦人も世界の大勢に後れぬようとの微意からであります。

日本婦人の進歩を欲する男女は來りて本誌の發展に助力せられよ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くる〱記

西川文子

私は今月ほど忙がしくまとまらなかつた月はありません、書きたいことは非常に多くあるけれど、今日編輯と云ふ今になつても落ついて書き出して見やうと云ふ氣にどうしてもなれないから日記と斷片的感想とで許して貰はうとおもひます。

一日から五日までは女中が今度新らしくなつたので家事を敎へたり馴らしたりする爲めに、私も主もに家事向きの事をしました。

六日七日の兩日は朝から伊藤さんと二人して演說會のビラを市中の方々に賴みながら懸けて歩きました。こんな事は人に賴めば何でもない樣なものだが自分達でするとなると非常に骨の折れる勞力のかゝるものです。ビラの竹と針金とは山口さんがつけて下さつた、これも一通りの事ではなかつた事と感謝いたします。

九日の日曜に午後統一致會で婦人問題講演會がありまして、私も依賴を受け『結婚と職業』と云ふ題で日頃考へて居る婦人職業論をいたしました、聽衆の大部分は女學生で、百名ばかりでした。

十一日日比谷公園に集まつて一日チラシまきをする事にしました。山口、山盛、伊藤、立石さんなどが早くから來て下さつた、十時半から二手に分れて私と山盛さんとは三越から女子大學に行く事にして他の方々は家庭博からお茶の水に行かれましたが計らず須田町で又落合つて一しきり一しよになり、又分れて私達は女子大學に行き歸途江戸川終點に居る中にすさまじい夕立にあひました。

此日日比谷へ樋口さんが手傳の人迄つれて來て下さつたのも平澤さんの出て來られたのも私達が日比谷を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

去つた後であつたのは殘念でした、誰れか一人は殘つて居るのが本當だつたのに。

十四日矢島揖子さんから『今回京都に開かれた日本基督教婦人矯風會第二十三回大會決議に就て御援助を仰ぎ度く』と云ふ招待狀が來て居たので行きました記事は別項四十九頁にあります。

十五日朝十時から靑年會館に行く、山口、伊藤、山盛、立石御夫婦　久留天豪さんとつゞいて來て會場の準備などして下さる。十二時前から學生が大分來て早く開けろとせつかるゝので、あらかじめ非常に盛會らしく想はれる、やがて高野先生が御夫人御同伴で、『二十年來一しよに居るけれどもまだ一度も私の演說を聞いた事がないと云ふから今日はつれて來た』と云つてお見えになり、平澤、樋口、有田、日向、小口さんと揃つて一時に開會。タヌキさんからはわざ／＼『ケフノセイカイヲシユクシマイラスタヌキハハナノヒユカレマセン』と電報を飛ばされた。辯士を賑はしく十名も書き出したのは、決して無責任に並べたのではない、確かり承諾を受けてあつたのだが、生田長江先生からは『トリコミゴトアリデラレヌ』と云ふ電報があり、高島平三郞先生からは他に差支へがあると云ふ傳言を聞き、内ケ崎先生は御斷りがないから來られる事と最後まで心まちにしてゐたがとう／＼來られなかつた、歸つて見ると先日痛めた咽喉がまだ治らぬからと云ふお斷りのハガキが來て居た。會場借用の約束時間も過ぎやかましく云はれるので五時過ぎに閉會。今日の來會者五六百名の中婦人が百名あまりもあつたのは曾てない事で何より喜ばしい事でした。與謝野夫人、小此木武子夫人、前田夫人、石田夫人、堺大杉兩夫人、伊藤野枝さんなどがお見えになりました。

此日の諸先生の講演は別に書いて頂いたり他の方の印象記にも現はれてゐるから私は略しますが、平木先生の『女子が參政權を得なば』と云ふ英國の小說中のグランネット首相と婦人直接行動會の會長スザン女史との會見の場を譯出して御朗讀になつたのが如何にも藝術的でした。非常に面白いので是非此號に載せたいと思ひましたが後れた爲め印刷所でやかましいので次號にいたしました。本號の梗概を是非よんでおいて下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貞潔に就て

西川文子

（一）

婦人に對して貞潔、貞操を喧しく云ふのは、元々男子の嫉妬から出たもので、男子は社會に勢力のある所から、貞潔を重じない貞操のない女は社會に立てぬ、否生きて行けぬ仕組にした。ソコで婦人は恐怖から之れを守るに至つたものです、形式結婚を維持し、無自覺な婦人を御する爲めには、斯くすることが、必要であつたのでしよう。

けれども婦人が自覺すると共に、コウ云ふ恐怖からの貞潔、貞操と云ふ樣なことは、權威を失ふて來ましたが、茲に新に別の意味の貞潔貞操と云ふ考が起つて來ました。

處女が貞潔と云ふことを重じなければならぬのは、一旦之れを失へば、自尊の精神を害し、自分の德性上に大害を受けるからである人の靈の爲めに何によりも大切なることは、自尊自敬の念である、之れのない女は香氣の失せた花の如しです。

又一旦結婚した婦人が貞操を守らなければならぬのは、最も深き愛は斯くせねば味はれぬからであります二心ある男女の結合から、どうして神聖な家庭が生れませう。

（二）

コウ云ふ意味合から、今後の婦人は貞潔を重じなければなりませぬが、私は此の貞潔と云ふことは、獨り婦人の問題でなくて、より多く男子の問題として論じなければならぬものと考へます、貞潔に限らず、普通

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に婦人問題として取扱はれて居る問題は、大抵より多く男子の問題であると考へます。

今の日本では、未婚の男子の多くは、不品行をしても少しも之れを恥として居ませぬ、而して妻君を探す時には處女を求め、何に喰はぬ顔をして結婚します甚だしきは自分が花柳病に罹つて居るのをも構はずに結婚し、花の如き處女を直ぐ病人にして了ひ、而かも口實を設けて之れを離縁し、又新に處女を娶ります。何んと云ふ殘酷、何んと云ふ野蠻でありませう。

今までの婦人は無自覺でしたから、コンナ不品行な男子とも結婚して來ましたが、今や婦人は自覺せんとし、經濟上にも獨立せんとしていますから、今後は之を拒む婦人が増加し來たるに相違ない、ソコで貞潔な男子でないとダン〳〵善き婦人とは結婚が出來なくなるから、止むを得ず男子も貞潔と云ふことを我が問題とするに至らねばならぬのです。

今まで男子の其の嫉妬からであるとは云へ、婦人の貞潔、貞操を喧ましく云つたことは、婦人にとり、害よりは益になつた、無自覺な婦人の道德は之れによつて僅かに維持されたのであつた。

今度は、其の返禮に、自覺した婦人は、不品行な貞潔の重ずべきを知らぬ男子との結婚を拒みて、男子に貞潔と云ふ道德を強制せねばなりませぬ。

(三)

此の間、四十歳の一女教師が自殺しました。結婚の機會を失したことが原因で憂鬱病に罹り其の結果自殺するに至つたものです。之れを見て、女は弱いと云つた男子がありましたがソウではありません。女も一人では立てないが、男も一人では立てません。

例へば、最初加奈太へ移住した佛人の多くは獨身者なりしに反し、英人は多く夫婦者であつた。而して加奈太は後に英領となつて了つた、獨身者の佛人は、夫婦者の英人に負けて了つたのであります。又パナマ運河は實に難工事であつた。イクラ勞働者をつれて行ても直ぐ逃げ歸り、然らざるものは病死した。米國が遂

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に此の大工事に成功したのには様々の原因もあるけれど、其の最も重なるは、獨身者を使ふに比し、夫婦者を使へば四倍の費用を要したにも係はらず、夫婦者を使ふ方針を執つたからであります。

男も女も半分であつて全部ではありません。されば貞潔は男女共同の道德でなくてはならぬ。此の男女共同の道德を、從來は男子が女子のみに強いて來たのですが、ソレを今、婦人は男子にも強いんとして居るのです、男女が互に貞潔を強い、之れが男女共同の道德であると云ふことが徹底すれば、ソコに始めて聖なる結合が男女の間に行はれ、神聖なる家庭が出來ることであらうと信じます。

私の要求する女

與謝野寛

男の心を正直に告白すると一體に婦人を輕蔑して居る、「女子と小人とは養ひ難し」と言つたり「女小供」と一口に云つたりする、さうまで明白に意識して居ないにしても、何となく婦人を一段低級な人間のやうに輕蔑して居る、女に何が出來るものかと高を括つて居る。之は東洋の男子ばかりでなく、表面に女尊の風がある歐米でも男の心の底を叩いて見れば男尊女卑である。男が斯う云ふ輕蔑の心を以て對して居ることは御婦人には氣に入らないであらうが、さりとて此事實を男の得手勝手にのみ歸することは出來ない。男が婦人を輕蔑するには理由がある。女の理性の乏しさと、慾望の狹さと、實行力の微弱さとを理由として輕蔑して居るのである。過去に於て女の間からどんなに多數に人間の光榮とするに足る大偉人を出して居るか、釋迦基督、ミケル・アンゼロ、沙翁、ルッソオ、ダアキルなどに、匹敵する程の天才を出して居ないではないか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世の道德も法律も皆男の爲に都合の好いやうに男が作つたものだと憤る婦人を見受けるが、それなら今日まで婦人はなせ其我儘な男に屈從して居たのか、なせ其男の壓制に勝つことが出來なかつたのか、斯う反問したら婦人は一言も出ない譯である。

併し男は如何なる場合にも女を蔑視して居るかと云ふと、感情の上では母なり、妻なり、姉妹なりを愛重して居る。また實力のある女に對しては男と對等に尊敬し、若くば男の中の偉人よりも以上に過分の優遇をして居る。歷史上に高名な婦人が其れである。紫式部が日本文學史上の何人よりも優遇されて居る如きものである。

殊に近世の男は一面に女を輕蔑して居ながら、一面では女を在來の儘に放任して置いては善くない女の生活を男と對等の處まで引上げねばならぬ、男ばかりが威張つて居ることは專制思想の遺物である。既に四民の平等を唱へた以上、男と女の平等を唱へるに到るのは正しい推移である。女の自覺と努力とを促進して速かに男の動いて居る地點まで追ひ付かせることは現代の主要な問題の一つである。婦人の事は婦人自身のみで解決するが好からうと云つて澄して傍觀して居られる問題ではない、婦人問題は全人類の問題であると云ふ樣な思想が次第に男の心に――或は鮮かに、或は仄かに――上つて來て居る。それで幾多の男子が婦人問題に注意を拂ひ、若くは眞劍に婦人問題を討議しつつあるのである。

また同時に婦人自身にも在來の生活に不滿を感じて新しく男子と對等の生活――眞に五分五分の實力を以て男子と協同に營む生活を建設しやうとする欲求が起り、其れが女權論其他のさまざまな形を取つて社會に現れて來て居る、之が現代の世界の大勢であつて、日本の若い男女も此大勢に影響されずには居ない。現に今日の演說會に斯く多數の男子がお集りになつたと云ふこと丈でも、若い男の方々の注意と興味とが婦人問題に向つて居ることを證據だてて居るのである。また其等の新生活を欲求して居る謂ゆる新しい女の現れて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

來たことは言ふまでもない。

世人は「靑鞜」とか「新眞婦人」とか云ふ雜誌に關係のある少數の婦人達ばかりを新しい女だと解して居るかも知らぬが、私は然うは思はない。今日新しい女は何處にも分布されて居る。私の見る所では、苟くも今日高等女學校卒業程度の敎育を受けた婦人は殆ど皆新しい女だと云つてよい。なぜならば其等の婦人は——奧さんも、令孃も——殆ど皆在來の生活に不滿と疑惑を抱き、表面は兎も角、心の底では在來の生活を厭うてもつと快心な新しい生活をしたいものであると思つて居る。それは口に出して云ふと云はぬの相違で、アクティイヴに其欲求を發表して居る少數の新しい婦人も沈默して居る多數の婦人も「新しい生活の欲求」を抱いて居ることは同一である。却て後者は多數であるから既に世に知られた少數の新しい女達よりも更により自由なより大膽な、より熱烈な思想を持つた婦人達が其間に多く伏在して居るかも知れない。

新しい生活の欲求これが、現代生活の基礎であり、また目的でなくてはならぬ。現に此欲求の强烈な民族ほど現代に優者たる地位を獲て居る。また現代に勢力のある學問藝術は凡て此欲求を高調するもの計りである。

さて私の問ひたいことは、其等の新しい婦人の持つて居られる新しい生活の欲求と云ふものが果して何れだけ熱烈な程度の欲求であらうか、一體に東洋人は生きようとする欲求が歐米人に比して眞劍でなく、熱烈でなく、深刻でなく、複雜でない。まことに「淡きこと水の如し」と云ふ風である。昔から可なり新しい生活を好んで初物好きではあるが、其れを飽迄も追求しないで生溫く舊生活と折れ合つたり、分を守らねばならぬと云つて諦めたり、形式の新味だけを嘗めて中身に及ばずに止めてしまつたりする、男子が既に然うであるから、まして突進する勇氣を缺いだ日本婦人が歐米の新しい女の樣に猛烈な新生活の欲求を示すに到るか何うかは識者の危む所である。

また幸福なやうで不幸であるのは、日本には歐洲に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある様な頑強な保守思想の壓迫がない、諸君は歐洲の若い男女はさぞ日常生活に於ても自由な生活をして居るであらうと想はれるであらうが、其れは日本に於る青年男女の方が、諸君の方が、どれだけ日常生活にも精神生活にも自由を得て居られるか知れない、全く自由を得て居られないにしても自由を摑まうと思へば摑み得る位地に居られるか知れない、歐洲では未成年の男女は勿論、結婚期の女子が保護者なしに、外出することの出來ないのは上中流社會の嚴重な道德である。一人で路を歩くことすら許されないのであるから、芝居、踊場、音樂會、演說會、どこへも一人で出入することが出來ない。芝居や音樂會や活動寫眞場へ出入しないこともないが、其れは特に晝の間に未成年者の爲に催される其等の場所に限つて出入することが許され、さうして必ず保護者に伴れられて行く。歐洲の未成年者は決して大人の出入する芝居其他を覗いて觀ることも出來ないのである。それに日本の若い娘は何處へでも一人で行き、どんな場所へでも自由に出入が出來る、夜間でも一人で歩くことが許されて居る歐洲の若い娘は、一人で演說會へ來て今日の青柳有美君の演說を聽くと云ふ様な寛容を得ては居ないのである、また歐洲の若い男女は其讀物を父母、教師、保護者から嚴重に監視されるのであるが、日本の娘はどの様な雜誌でも大抵自由に讀むことが出來る、心掛次第で片田舎の山中に住んで居る娘さんでも父兄の知らない新思想の書物を讀むことが出來る。また諸君は歐洲は自由戀愛の行れて居る國の様に想つて居られるかも知れないが、全く反對に、今以て多數の青年男女は戀愛の自由を得られないのに苦んで居る。位地の相異の干涉、財力の不平均と云ふ様なことが相愛結婚を妨げて居るのであるが、日本の父母は其れ程に頑強でない、若い當人同志の愛情さへ、強硬であれば大抵の父母が我を折つて結婚を承認する結果になつて居る、舊勢力の壓迫が頑強であれば其れに反抗して起る新勢力も從つて猛烈であつて、新舊勢力の激戰に由て際立つた新生活が建設せられるのであるが、日本の若い男女

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は苦勞せずに或程度の自由を得て居て頑強な敵に出會はないから、猛烈な破壞力も內から爆發しないのではあるまいか婦人問題が日本に發生して以來五六年にもなるのに、まだ今日まで如何なる意味の婦人運動も猛烈に起つて來ないのは識者をして頻りに斯う云ふ疑惑を感ぜしめるのである。

それなら私は全く日本の新しい女に絕望して居るかと云ふと、決して然う悲觀しない、否、私は力めて樂觀しようとする者である、私は日本人の生活意志が歐米人に比べて本來微弱なものだとは想はない。地理、氣候、其他の關係から久しく冬眠狀態にあつたのに過ぎないと信じて居る。私は未來派の藝術家の叫ぶ如くに過去を無視する、過去の生活が如何に貧弱であつたにしても其れは吾々の未來を推斷する前提には少しもならない、未來の生活は人爲の生活である、必至の生活ではなくて突發激變の生活である。若し我々が過去の生活を愧ぢるならば速に過去の空氣から脫して未來へ突進するばかりである。如何に斯う我々が叫んでも生活意志の弱い者は奮起する筈がない、弱い者は亡びよ、併し新しい女達の生の欲求が果して强烈に發展する素質を持つて居るなら、私が諸君にお薦めする未來主義に對して心の何處かで共鳴を感ぜられる筈である、私は不用になつた過去と全く絕緣して、大膽に、自由に、未來の生活を建設しようとする婦人達の出現を要求する。婦人の生活欲が其處まで强烈になれば、種々の生活改造を目的とする婦人運動が實際に起つて來ねばならない、私は其れを期待して居る。そして第一に必要な運動は、婦人の智識を男子の智識と平均するまでに大急ぎで敎育する風潮を婦人自ら激成することであらう。今の程度の智識や見識で未來の生活に參加しようとするのは無理である。（演說大意）

五月雨たゞ降るものと覺えけり　　鬼貫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「女子が參政權を得なば」（梗概）

平木白星

Woman Suffrage といふのは諸君も既に御承知の事でありませうが、一言以てこれを申すと、男子が選擧權を獨占するのに反對する運動で、女權主義を實行する一手段とも言へるのである、婦人も公民たる以上は參政の權利を有すべきであると主張する。私はこの女權擴張運動に初めから終まで同意するとはいへぬがこれ等婦人がかくの如き行動をなすに至つた動機には多大の同情を寄せる。婦人の事は婦人が爲すといふ彼等の勇氣をも嘆賞せざるを得ない。

婦人の事を婦人が爲すのはよろしいが、男子の事を婦人が爲すのはドウであらうか。これは疑問である。Suffragette は婦人にして男子の事をもせんとするのだ私は希望する。婦人が國家の爲め社會の爲め、人類文明の爲め力を盡さうとせば、何も政權に直接參與せずとも、政治にあづかる以上の事が出來るのである。婦人の力を以て輿論を呼び起し、行政機關を自らが思ふままに動かすことができる。政治に關係せずとも、それ以上の事が出來る。その邊の事は一考を要するのである。

演者は女子參政權運動が現時世界に大に擴がつてゐる事實を述べ、その運動の萌芽せし時期と、沿革を語り、現今の狀勢と平和回復運動に從事しつゝありとの最近の通信種などを講述した。

英國に於て何故かくの如く女權熱が勃興したかといふと、それは婦人の人口過剩が、婦人に對する經濟上の困難を釀したのが最大原因だ、イングランドとウエールスにあつて、二十歳以上五十歳以下の婦人がどの位あるかといふに、最近の調査を見ると、八百萬人で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある、而して未婚者がその内三百萬人なのだ、かくの如く、婦人の結婚が困難になつた一事は激烈なる性（セキジユアル）の檢束（レストリクシヨン）を生じた。それが兩性の反抗（ホステイリチー）を呼び起したのである。サフラゼットの公言する終局の目的としては性（セツクス）に依るところの總ての區別を排除し、而して婦人の經濟上の獨立を計らんとするのである。

次にサフラゼッツの婦人に參政權を與ふべきか否かこれが大問題である。その事は婦人參政權反對者同盟（アンチ、サツフレーヂ、リーグ）なるものがあつて、婦人が代議政治にたづさはる事の不可なる理由を堂々と公表してゐる、又歐洲の諸學者に依つて多々研究され論議されてある。が、大體からいふと、婦人は爲政者として不適當だといふ議論の方が優勢で且確實のやうに看受ける。

婦人が參政の權利を有し爲政者として立つに不適當なる點は、（一）體力（Physical force）と威力（Prestige）に於て不合格である事。（二）智性（Intellect）が不足である事。（三）婦人の道德は家庭的であり個人的であつて公共的道德の觀念が缺乏せる事。（四）婦人は法律制定者として不適當であり執行者として不適當である事これなどが重なるものである。

演者はこゝに於て諸學者の學說とその事例とを述べたり。而して演題『女子が參政權を得なば』の解釋に入る。これは小說の題目なので、作者は James Barr にて、眞の題目は、"When woman won といふ女子參政權運動者を資材とせる諷刺小說なりとて、その梗概を語り、且つ演者自身が飜譯せる、小說中の一齣を朗讀する、この小說は政治家の淺薄さと既婚婦人と獨身婦人との軋轢を暗示せるものなりと評せらる。

婦人に投票權を與へよといふたとへ投票權を與へても此の運動は止まない、參政權を與へよといふ、それを與へても止まない。英國婦人の權利擴張運動は經濟上の獨立を得るといふ事に止まらない。政治家や經世家は彼等Suffragetteの病源が何處にあるかを明らめて醫藥を投ずべきだ。サフラゼットは畢竟性（セツクス）の問題である。自然的生理問題である。春機發動期（ピユバーチー）と結婚期の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

不調和から生じた痛ましき現象なのである。不順當なる社會の境遇に妨げられて、正當な結婚期を失し、圓滿なる性の滿足が得られず。熱烈なる性情が興奮し緊張して來ると、その苦痛から脱しやうと懊悩する苦悶する、その力を洩らす爲めに勢ひ暴動もするのである。彼等は肉體的に飢えてゐる、地位とか權利とか名譽とかいふやうな抽象的な獲物で滿足を與へやうとしても決して抑制し得られない。

かくて演者は近頃のサフラゼッツが沈默してゐるのは一の政略であつて一八九九年南阿戰爭の際も運動を中止して、戰爭が濟むと一層活氣滿々とアバレ出した如く、今回も一時的沈默してゐるが戰後の活動は必ず大なるものあらんと豫言し、大戰爭後には戰前に倍するものがあらうと思ふ。今回の戰爭の結果は婚姻年齡階級の男子を急激に多數に奪つた。さらでだに女子の數が過剩して婚姻が困難のところに益々婚姻難が增大する。これ等獨身婦人は自ら立つて社會に働かなければならぬ。而して獨立生活を營む獨身婦人の數が著しく加はる。戰後かくの如く獨立生活を營む獨身婦人の增加するのは、畢竟サッフレーヂ若くはこれに類する婦人運動の大發展を意味するものではあるまいか。サッフレーヂの首領連は今回の大戰亂を目して、男子文明の失敗を證明するものだといつてゐる。今後に於ける婦人運動の激烈さは戰爭前と比べられぬ程盛んな事であらうと思ふ云々。

タゴールの女性

中尾清太郎

ローレンス夫人の著書

私の『タゴールの女性』は、ベシック・ローレンス夫人の話から始まる。——

六月には來朝との噂ある英のベシック・ローレンス

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫人は、あの通り幾度も牢に入れられたり、又牢の中では絶食同盟などをしたりするものだから、定めし烈しい女のやうにも想像されるが、必ずしも一面さうでもないらしいものがある。彼女は雅號を、Nixon Hillian Edith と呼んで、"Fairy Tales, a Child Can Read & Act" と云ふお伽噺の本を出版してゐる。私は、それを見たいものと思つて、いつぞや上野の圖書館へ往つて、内々搜してみたけれども、そんな氣の利いたものは見附からなかつた。――斯書、或は早くから『人間の子供』に選擧權の思想を吹き込まうとしたものかも知れない。

非婚同盟の組織

絶食同盟もいゝが、私は斯う考へる。世界の婦人參政權運動者が、ゼネラルに申し合はして、對男子非婚同盟を組織することである。即ち彼等は婦人參政權運動の成就する日まで結婚せず、次代の國民を產まないと相互に誓約して、男子のプロポーズを、拒絶するのである。――さあ果して、それが出來ようか。出來なくても面白いが、出來りや尚ほ面白い。若し彼等も男子も共倒れになりや、いつそ面白い。どうせ、こんな世界は早く滅ぼして、新しい世界を造り出すのもいゝのだ。そして、それは屹度神樣の喜ばれる所であるに違ない。氣の永い天の神樣も、此世界には、もう大抵に厭かれてゐることだらうから。

タゴールの『チトラ』

今タゴールの『チトラ』を見ると、「お前が失つた婦人性を獲らうとするな。お前はお前のあるが儘でゐよ。性なんてことは構ふな。」と云ふやうにみえる。それで考へると、タゴールの女性觀は至極のん氣なものだ。尤も『チトラ』は二十六年も前の作で、丁度『園丁』の歌の出來た時代だから、『園丁』のやうにロマンチックな所があつて、幾分後の『ギタンジャリ』に在る程な嚴肅な精神性がないかも知れない。それは恐らく彼の年齡から來る情熱の加減に因るものであらう。然し『チ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

トラ』の脚色は『マハブハラタ』から取つたやうに、又『園丁』や『ギタンジヤリ』は『吠陀』の讃頌に似通つてゐるやうに、彼は到底『梵』の憧憬者であり、『ウパニシヤド』の繼紹者である限り、二十六年後の今日と云へども、彼の内部生活にさう變化があらうとは思へない。

チトラは國王の家に生まれた一粒種の女の子であつたが、男の子として大きくされたのだ。それが戀人アルジユナを見てから、神に願つて女の姿にして貰ふと今度は其戀人から撥ねられる。それで、やつぱり元の姿がよかつたと言ふことになる。チトラの最後の言葉は最も美しく最も含蓄的で、いろいろの意味に取れるが、「私が誇つてお前に送るものは『女の情』である。此處に所有苦痛もあり、喜もあり、又望も恐も、少女の羞耻もある。此處に愛が不死の生活に向つて躍り出す。此處に貴い、立派な『不完全』がこもつてゐる」、と斯う言ふのだ。

アルジユナの最後の言葉は、今彼等の間に完い理解を得て、「愛する者よ。我生は充實せり。」と言ふのだ。

少し說明を要するのは、タゴールの『不完全』と云ふのは、完全の一部表現である。――丁度音樂に耳のある人が、譜の連綴を聽いて一つ歌の完全を實現するやうなものだ。人生の苦痛も惡も不平を言ふに及ばない。苦痛や惡のない世界が何處に在らう？「なぜ惡が在るか」と問ふのは、「なぜ不完全が在るか」と問ふのとおんなじだ。それぢや天地の創造を怪むやうなものだ。人生を否定することになる。總て此世の苦痛や惡は完全に達する過程に過ぎない。また喜も愛も苦痛と同じく、有限觀念にこだわつた感情である。それが決定ではない。結局ではない。創造の根本義ではない。と云ふのだ。

斯う云ふ人生の見方ぢや、チトラはタゴールの戲曲中、最も『新しい女』の型を備へてゐるものにしても、パンカースト母子や、ローレンス夫妻のやうに活躍することはない。又タゴールもそれを冀はないであらう。

『暗室の王』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

それから『暗室の王』である。
『暗室の王』では、不思議な暗黒な部室でのみ逢ふことを許されてゐる王妃が、偽王に迷つたり何かしてゐるうちに、一目眞の王を見て、其眞つ黒い、恐しい顔にふるへ戰いて、隣國の自分の父の家へ逃げかへる。と其國は又隣國の王カンチーの爲めに征服される。そこで彼女は前の夫王を懷うて尋ねに出る。カンチーも亦暗室の王の威力に服してゐるから尋ねに出る。二人は途中で出遇ふ。其時眞の王は姿を現はして、

「お前は何處を探し廻るのだ。
私はお前の側にゐる。……
若しお前が眞の探求者なら、
お前はすぐ私を見出す。
すぐ瞬く間に私を目附けるのだ。」

こんなやうなことを言ふ。『チトラ』では、女は育てられた儘の姿を求められ、これでは王妃は眞の心の態度を求められてゐる。だから王妃の女からも、あんまり優れたものにして扱つてあるとは言へない。但し之を芝居にすりや。王妃の役廻りは最もいゝ。さしづめ一廉のスターでなくちや勤まるまい。

『村の郵便局長』

次には、『村の郵便局長』のラタンである。
これは可愛い、無學な土人の娘である。カルカッタから來た都育ちの若い『村の郵便局長』を慕ふのである。局長の方では、姉妹のやうに思ふが、娘の方では夫のつもりで侍く。其内局長は病を獲て故郷に歸る。「離合集散は人生の常だ」と云ふやうなことを考へつゝ、若い局長は去る。跡に殘つた娘は、おろおろと涙に浸つて局の周を歩きながら、「ひよつとすると歸つて呉れるかも知れない」、と頼みにならない望を頼みにして待つてゐると云ふ筋である。
無知の女と誤解の戀と――と云ふより『美しい誤解』と、人生の眞とを併せ描いたものである。短いものだけれども、著者の哲學も見えてゐるものである。反譯は『大阪毎日』の四月二十五日の日曜附錄に私が

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初めて出して置いた。

これも、女は有り難いものにしてない。どうもタゴールでは、女がほんとうに生きてゐないやうに思ふ。寧ろ印度の凡人階級が、彼の説敎を聽べく、暫く一個の女性に身を變て取扱はれてゐるとしか思へない。のだと言つた方が當つてゐるかも知ない。だから、女は、たゞ或思想を説明する爲の相手道具に過ない氣味がある。尤もさう言へば、女に限らず、男に限らず、又子供に限らず（子供では、彼の『郵便局』のアマールの如き）、彼の戲曲全體が、どれも彼の哲學・人生觀を高調する爲めの一種の藝術的組織に過ぎない。しかし、それがタゴールの戲曲の缺點にも、亦彼の哲學の非難にもなると言ふのではない。彼に於て、そんな批評は、差し引き何にもなるのではない。

夕霧の三味線

私はけふ、上野の家庭博覽會へ往つて、夕霧の三味線と云ふものを觀た。そして、いろいろのことを思ひ浮べた、勿論、それがうそ物であらうと、ほん物であらうと、そんなことは私の感興をそゝるに何の妨もなかつた。私はそれを觀て、彼女が吉田屋の二階で、春の夜のつれづれに爪彈か何かで、此細棹の三味線を掻き鳴らしてゐると、其處へ伊左衞門が浮き足の忍び姿で、そろ〳〵と格子先に立ち寄る。そして心中を明かした同志の男女は、そゞろに盡きぬ兼言に咽ぶ。それは丁度多島海の邊に住サイレンが、微妙な音樂を歌ふ時に。其處を通る舟人達は身の滅びるのも忘て、うつとりと誘はれて行くと云ふのと似てゐる。私も、つひうかうかと他の出品は多く見ず、通り過て外へ出てしまつた。

さう云ふエクスタシーの境は、夕霧伊左衞門――チトラ・アルジユナなどゝ並べたら、ちと比較をあやまるかも知れないが、タゴールの他の所の語で言へば、彼等は『梵の無限の愛に入つた』もので、卽ち『梵に在つて生くる』の歡喜を得たものと譬へられようか。とにかく私は其時そんなことを思つて、今又こんなことを書き加へたくなつた。（一九一五年五月十日）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

妹への遺書

筧　生

通子さん——

あなたがこの手紙を讀む頃には私は冷めたい巖の上に永劫さむる時なき眠に横たはつてゐます。私はこんな不吉なことを誰にも、少なくもあなたにだけは、お知せしたくなかつた、お知らせするに忍びなかつた。といふのは幼いころからこれ一日として樂しい明るい日を見たことのないあなたに、又もや新たに大きな悲を負はせるといふことは私としてとても出來ない仕事でした。かつ、この知らせを見て驚き嘆くいたいけなあなたの樣子が目に見えて、何度書きかけた手紙を破つては捨てたか知れません。だけどもね……廣い世界にたつたこの兄一人を賴のあなたが全く突然に私の自殺を聞いたなら、その驚愕と失望と悲嘆とはどんな意外な結果にならふもしれんと案じられたので、思ひ切つてお知らせをすることにしたのです。ですから、此度の私のことを氣に病んで體でも毀すやうなことがありでもするなら、それはまるで私の願ひに背く行爲だと思つて下さい。

しかし私は今は既う固く死を決してゐるから、心は宛然秋の青空のやうに玲瓏と澄わたつて、快い平靜を保つてゐます。眞に一點半個の恐怖も、不安も、怨恨も私の心の中からは見出すことは出來ません。却つて、苦の世を遁がれて自由な遐な大宇宙へひろがり行くのだと思へば狹苦しい他人の借家から高宏な自分の第宅へ歸るやうな悅しい心のときめきを覺へてゐます。そして今まで慊でならなかつた『人間』に對してさへも一種のなつかしい味を覺へずにはおられないくらひです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

要するに、こうと決心するまでは『死』に對する黑い恐怖や名狀しがたいある種の苦悶を胸に感じたけれど、今となつては却つて曾て經驗したことのない冷靜を覺えて自分ながら不思議に堪えない程平氣でゐます

しかし、九州の北海岸の濤の音のみきこえるあの淋しい悲しい哀れなK……町へあなたをたつたひとり殘して私が上京してから早や三月程にもなるやうですね。嘸毎日毎日私の身の上を心配してゐたことでせう……毎日送金を待ちあぐんでゐたでせう……それを思ふと……私の死後あなたがどんなにか悲慘な生活をするのだらふと思はれて………しかし、あゝ、しかし、それもこれも遁れがたない宿命なのです……

まだあなたは何も知らないでしやうけれど、實は私といふ人間は抑も母の胎内に新生命として宿つたその時から、已に呪はれてゐたのでした……、兩親とも未だあなたが嬰兒のときに逝くなつたのだからあなたが知らないのは無理もないが、父さんは評判な飮酒家でとう／＼酒で死んたのです。母さんも飮酒家の娘ですこんな兩人の間に初めて出來た私ですもの身も心も健全な道理がありません。私は藁の上から怖ろしい父の酒毒の犧牲となつて成長して來たのでした。その上に祖父さんは隨分な放蕩者で、六十近くになつても女に逢ひに行き行きしたくらいで、體の處々は鮫の皮のやうに皮膚が固く鼠色の粒々になつてゐた。勿論これは忌はしい亡國病の一種に相異ありません。この獰惡な病菌は一度只一度人の血液中に交るときは永遠にその子孫に遺傳しなくては止まないのです。してみれば此度私の血潮の中には祖父から流れ込んだ憎むべき病菌がうよ／＼と巣食つてゐなくてはならないのです。かくて私は酒毒と亡國病とに二重に詛はれてゐるのです然も殘忍極りなき運命はそれをしもなほ飽き足らずと思つてか、三重に三重にこの哀れな私を呪咀つてゐます、祖父の母は大阪の遊女でした……

この聞くも忌はしい家系を私に敎へたのは、永らく私の家に勤めてゐた忠實な『お菊』といふ老婢です。これの話を聞いたのは甫と私が十一の時——父が逝く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なつた年でしたから別に氣にも懸けなかつたが、それでも何だか變な氣持がしました、その輕い不安が蟲が木の髓を食むやうに年々深く大きく私の心に食ひ廣がり、學校卒業頃には最早や夜の安眠をさへ許さぬばかりに私を強迫してきました。それをあなたはひたすらに普通の病氣の爲だとばかり思ひ込醫者にかかれと毎日の樣に私に進めたのを今でも記憶してゐるでしやう

さて上京後一週間ほど經たある朝のことです、常とは全く異つた心地がして、いかにも不愉快でたまらなかつたものですから、青川博士――父の昔の友人で私の家の事は何でもよく知り拔いてゐる――に診察てもらつたのです……ああそれからあとは書きたくない…………『三十歲までには發狂か死か。忌はしい病菌が腦中樞を犯した。』といふ殘酷な宣告を下されました……發狂か死か……發狂か……死か……その日からあとは如何にこの……問題を解決しやうかといふ心配で何一つ手に付かず。はては『自己の快樂、遊蕩、飲酒のために何の罪とがもない子孫をこのやうな哀れな犧牲として顧みなかつた』祖父や父を仇敵のやうに怨みもし不幸な自分の運命を思ふて悲みもしました。昂奮しては自分自身で既う狂人となつたのかしらと思つたことも一度や二度ではありません。

五六日の間、うすきたない部屋に籠つて、泣いたり叫んだり、笑つたり、呪つたり、あらゆる狂態と醜態を盡したあとは、妙に心がなごむで恰も野分のあとの野もせのやうに氣味惡いほど頭が澄んで來たのでした――もうどれほどもがいても駄目だ――綺麗にあきらめるより外はない――二年、七百日經たない內に、自分の腦髓は饐えた果實のやうに爛れに爛れて、狂うのだ――死ぬのだ――未だこの濁つた黑い毒血を誰にもどの女にも分かたないで、呪はれた子孫を殘さないで自分を滅し去ることが出來るのは何といふ仕合だらふ――これが死んで行く自分に取つてはせめてもの心遣だ――然し通子はどうしやう――自分の無きあとは眞に孤獨だ――あのか弱い身でこの冷めたい浮世の波風をまともに受けてどうまあ戰かつて行けやうぞ――親

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

戚――馬鹿な、親戚が何の役に立つ――あゝもう誰にも妹の頼み手が無い――神様さうだ。無限に廣い世界に頼みになるのはたつた一人神様があるばかりだ――私の哀れな大切な唯一人の妹はこの慈悲深い神様にお願ひする外に仕様がない。

それより外には何ともあなたを幸福にしてあげやうがないのです。私の可愛い世界で只一人の妹をこれより外に幸福にしてあげやうがないのです――淋しい時や悲しい時には忘れないで跪いて神の御名をお呼びなさいよ――

通子さん――

あなたは確か十八歳でしたね。追々世の中のこともお解りでせうが、隨分自重しなくてはなりませんよ。『人間とは尾のない嘘と慾との野獸』ですからね。笑顔の假面をかぶつた夜叉でなくては人間社會は渡れませんよ――『眞の愛』そんなものがあると思つたら大間違ひですよ――。慾の戰場なるこの世では力のあるものより、才(?)のあるものが勝利者となるのです。

私の言ひのこすことはこれで終です。筆を擱くにあたつてあなたの健康と幸福とを心から神様にお祈りします。

(殘骸は故郷白山の絶頂なる巨巖の上に大の字に晒して、一片の白骨に至るまで、猛禽の胃臓を肥してやります。)

句むり

青嵐鷲よ腸食みに來よ

弱き子よ只祈りつゝ世を歩め

詛はれし兄より

大正四年四月廿五日夜二時

妹通子へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

晩年のナイチンゲール女史

西川光次郎

（一）

多くの人々は、ナイチンゲール女史と云へば直ぐロングフエローのランプ持てる貴女を聯想し、慈悲の天使としての彼女を思ひ浮べるのであるが、彼女には此のやさしき方面の外に、强い方面もあつたことを忘れてはならぬ。何にしろ、之れまで一切婦人を入れたことのない、英國の野戰病院内へ、始めて侵入した婦人であるから、其の當初、軍醫達から疾視され、迫害された樣は、今日私共の到底想像することの出來ない程であつた。何んでも雪の降る或日、夕方まで締出を食つて、外に立たされたり、七日間も食糧の供給を斷たれたことさへあるとのことである。又當時の野戰病院の亂暴たらなかつたもので、頻死の病人の枕頭へ鼠が出て來ると云ふ程であつたのである。其の間に立て見事に成功した、彼女の强情と手腕とを忘れてはならない。

（二）

多くの人々は又、ナイチンゲール女史と云へば、クリミヤの彼女のことのみを考へ、茲に彼女の働きは盡きてるかの如く考へるのが常であるが、實はクリミヤは彼女の傳記中の一插話に過ぎないのである。其後に爲した彼女の事業に比すれば、クリミヤで爲した仕事の如きは云ふに足らない程なのである。

彼女のクリミヤから歸つたのは千八百五十六年の八月、其の三十六歳の時であるが、其後彼女は英國軍隊の衞生設備の改善と云ふ雄偉しい仕事をして居る。印

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

度の軍隊衛生設備の改善、之れと關聯して印度人に衛生思想を注入する仕事、給水及下水の問題、進んでは小作制度の問題にまで及んで印度の爲めに盡して居るナイチンゲール看護婦學校の發達に非常に力を注いで居る。其他絶へず英本國は勿論、其の殖民地から、又世界の各國から、病院の新築ある毎に、看護婦に就ての問題がある毎に、彼女の元へ、質問が續々來た。ソレに一ち一ち答へたものである。クリミヤから歸つて後の、彼女の働きは實に驚嘆に値する。而かも之れが

寢室に於ける晩年のナ孃

殆んど凡て病床で爲されたのであるから一層驚かざるを得ぬ。

　クリミヤより歸つて後四十五年間、彼女は殆んど凡て病床にあつた、然かるに此の間右の如く多くの仕事を爲したのである。而かも其の仕事の仕振りが親切を極めたものであるから仕事の量よりは遙かに彼女の苦心は大ものであつたのである。例へばナイチンゲール看護婦學校のこと丈けに就て云ふも、彼女は生徒の雜記帳までも病床へ送らせて調べ、又一ち一ち定期に、順次に生徒に面會し、而して其の面會の時の感を後で書き置きて、其の人卒業の際、之れを適所へ周旋するの參考としたものである。加之、卒業生が何所へ行ても絶へず之れと文通したものである。

　面倒がらぬこと、ヨイ加減にせぬとは、偉人の特性の一であると云ふが、ナ孃は實に面倒がらぬ人ヨイ加減にはして置かぬ人であつた。

(三)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

右の仕事をする爲めの手紙も調べ事も、多く彼女の寢室で爲され、又其の爲めの會見も多く寢室で行はれたものである、寢室は二階にありて窓と入口との間に寢臺を置き、足の行く所の方が暖爐に接近し、寢臺の後方には書齋が設けられてある、寢臺の前の机の上には花が何時も生けられてある。此の花は毎週アシユバアトン夫人より送らるゝものである。壁は一體白塗りで、カーテンなど一もなく、室は光と花とで滿ちて居た、此の室へ這入つたものは、何時も清潔と美しさとを感ずる　、ソレで居て室内に單に裝飾用のものが殆んど置いてなかつた、又高價なものは殆んど無かつたと云ふことである。壁にかゝれるはローレンス卿の肖像、埃及日沒の水彩畫、セバストボールの著色石版畫等二三のみで、暖爐の上の飾り臺には、『汗は余なり、恐るゝと勿れ』と書いてあつたと云ふことである。訪問者の中には、ナ孃が其の室に於て直立し若しくば歩き廻はれるを見た者が、偶にはあつたが、多くは寢臺に横臥し、若しくば安樂椅子によれるを見るのみであつたので、彼女の頭は其の少女時代には比較的に小さかつたと云はれて居たが、晩年には確かに大きい頭だとの感を人に與へた樣である。

訪問者が其の室に入り來るや、ナ孃は寢臺若くば安樂椅子から少し身體を前へ出る氣味にし、微笑を以て之れを迎へ、自分の寢臺若しくば安樂椅子のワキにかけしめて、談つたものぢや。

（四）

千九百〇一年若しくば千九百〇二年からは、讀み書きは全く出來なくなつて了つた、けれども少しでも見へる中は、ナ孃は其の身邊に花を置くことを好んだ、失明の最初の中は、尙は新聞紙を讀み聞かせて貰ふことを嬉んだが、後ちに傳記を讀み聞かせて貰ふことを樂しみとした。而して面白い所へ來ると、傍の机を叩いて贊成の意を表した。彼女は何所までも負けぬ氣で人を支配するの精神に富み、人には世話にならうと思

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はぬので、看護婦は世話をするに困つたと云ふことである。聲は最後まで確かなものでモウ最後の近よりし頃には、ミルトン、シエレー伊太利、佛蘭西の詩なぞを暗誦し、开を唯一の樂しみとして居たと云ふことである。

千九百十年の八月十三日に此の世を去つた。彼女の生涯は九十年と三ケ月であつた。

（五）

ナイチンゲール女史の爲人を概言すれば、彼女は愛隣家で同時に論理家、溫情の人で同情に固い頭の人、又神祇的の人で同時に事務的の人であつた。

彼女は晩年中世基督教徒の神秘思想を好んで讀んだが、其の爲め隱遁的の人とはならず、神祕思想を實際生活の役に立てた人であつた、最後まで爲さねばならぬことのみに就て考へ、死に至るまで休息を欲せざりし人であつた、之れは元より偉大なれど、事業よりも動機に重きを置き、死に至るまで自己完成を第一の目的とし、『人は晩年になればなる程、其の品性が美しくならねばならぬ』と云つて居たのは、更に偉大である。

婦人界 小評論（一）

死にたいから死んだのだ

五月八日の新聞に『飛行將校と藝妓の情死』と云ふ記事が現はれた。此の記事を讀みて考へて見るに、兩人情死の理由は、女も男も氣分で生きて居る人達のこととて、享樂の極、いつそ情死が面白からうと、主觀から來ての情死であるらしい。彼等は死にたくなつたから死んだので今までの情死の樣に、此の世では添はれぬからとか申わけがないからとかと云ふのではない。ソンナ點は毛頭も見へて居ない。思ふに今後、死にたいから死ぬのだと云ふ人が增へることであらう。尤も今までも情死にも、遺書や、何んかには他の理由が書いてあつても此の死にたいから死ぬのだと云ふ氣分も大分あつたことと思ふ。

夫婦間の心理作用

五月十二日の新聞に、鐵道院の雇某が、剃刀で其の女房を殺したと云ふ記事が現はれた。神經衰弱の極、神經がイラ／＼して居る處へ、女房も肺を病むに至り獨身生活をして靜養したしと云ひ出したので、兇行を演ずるに至つたものであるらしい。男の修養不足は勿論此の兇行の一原因であるが、女房が氣轉をきかせて之れが梶をとることを知らざりしも一原因である。私共はお互に、今少しく人の心理作用を見ることを學ばねばならぬ、殊に夫婦の間には、微妙な心理作用のあることであるから、お互に心理作用に氣を付けて居らぬと、理由ならぬことが理由になつて其の間に面白からぬとが生ずるに至るものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人界 小評論（二）

横濱の先妻殺

五月四日の新聞に、先きに村井兄弟商會の北海道支店長を勤め、最近には横濱獨乙商館の番頭として相當の位地にありし某が、長船の名刀で、其の後妻を兩斷したと云ふ記事が現はれた。而して其の理由は、後妻が先妻の小供を虐待したのを怒つてゞあると、書いてあつた。某としては、後妻と先妻の小供との間を折合よくすることに苦心し、どうしても甘く行かれば離縁すべきであつた、然かるに某は後妻の爲すがまゝに委せ置き、忍ぶべからざるに至つて、怒氣一時に發し、前後を忘れて切り付けたのである。之れは獨り某のみならず、日本人のよくやる弱點である。友人の間でも、夫婦の間でも、お互に不平を蓄積して置かずに、其の時、其の時に發散さして置くと、コンナ慘事は起らぬで濟むことであらう。

道德上の勝利者

之れも五月四日の新聞にあつたことで、一兵士が二人の婦人を絞殺したと云ふ記事である。殺意を生じたのは、婦人に戯れ、拒絶された爲めであつたらしい。不品行な男子ならば、戯れて拒絶されても、モウ免疫になつて居ることで恥とも何んとも思はない所であるが、彼は元來生眞面目な男のことであるから而して之れが女に戯れた始めである所から拒絶されたのを此の上もない恥と思ひ、遂に殺意を生ずるまでに至つたものと見へる。

私は此の眞面目な一兵士が、身を過るに至つたことを氣の毒に思ふと共に、世の眞面目な青年達に、諸君の上にも斯かる危險があるから注意し玉へと云つて置きたい。

論語に『若き時、之れを戒むるは色にあり』とあるが、眞面目な孔子の門下にも此の危險があつたから、斯く云はれたものである。仙人も女の脛の白きを見て空から落ちたと云ふ話がある程である。純潔を保ちて、青年時代を通過し得た人は、道德上、非常な勝利者であると云はねばならない。

認印迷信と儀式迷信

五月七日の新聞に、『或男が其の戀して居る婦人の認印を盜みて、契約書を認め、ソレを楯に女に結婚を迫り、女が拒絶したのを怒つて剃刀で女を負傷せしめた』との滑稽な記事があつた。之れは認印迷信の極端な一實例である。之れと並べて面白きは、五月三日の報知新聞夕刊に現はれた『花嫁逃出す』との左の記事である。

下谷區龍泉寺町五九〇藤掛六三郎二女あぐり（二二）は媒酌するものありて横濱市神奈川反町の榛名勇平（三五）と婚約成りしもあぐりには久しき前より意中の人あり此の縁談には心進まざりしも兩親の手前據所なく二日午後八時十分神奈川驛に着して愈々輿入となりしが此處に至りても尙婚姻を厭へるあぐりは驛前の混雜と暗夜に乘じ、巧に媒酌人を撒き晴衣のまゝ雨を突きて京濱電車線路を一散に東京指して逃げ戻らんとしたるが媒酌人が追駈けて漸く取押へ先づ／＼目出度結婚を濟ませたり

之れは極端な儀式迷信の一實例である。之れ程極端なのは少ないが、マダ／＼斯種の迷信が各方面に存在して居る、早く斯種の迷信を一切驅除して了はれればならない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

喜捨

小此木武子

或日臺所口に讀經の聲しきりに聞こえ從つて鈴の響物々しいので、あはてゝ戸を開けて見ましたら四十餘りに見ゆる色の淺黑い小柄の僧侶が托鉢に來たのでした。戸の開くや否やブリキ製の鉢をつきつけて米を入れよと申のです。何心なく其器を受取りまして適當と思ふ丈入れて渡しましたところ此僧は米櫃から米を鉢に掬ひ分けて居る手元を見て俄かに眼ざしあやしく輝き、モ少し入れよと厚かましく强請するのでした。以來喜捨の心の起こらぬのに心にもない施をするのは自己を僞はり且つは他に罪惡を强ふる事になるのだと云ふ風に思ひ込んでをりました。

一體禪僧等は先づ朝出かけます前に必ず祈禱してから參ります其祈りは『どうか一切衆生の救はれます樣に』と云ふのでありますから豫定の町を其心持ちで通り流すのみで決して人の門邊には立ちません、只ホーと云ふ樣な聲を下腹から出して參りますから其聲を聞き付けて有緣の衆生の方から驅け出して金錢物品を捧げて托鉢者に貰つて貰ふのであります。此時の衆生の心狀態はおのづから敬虔な氣分で其日一日は一家が淸淨な心持で暮せる事になるのです。衆生から物を貰ふのに、かやうな心持ちを起こさせぬならば貰ふ僧侶の不德を表白してをるのです、よく世人は此僧侶に對して托鉢して修業するよりは働いてやる方がはるかに優つてをるかの樣に申者もありますが之は甚だ淺薄な考へです。

世人が働いて食ふとする氣持ちを押擴げますと一面の弊害として或は優勝劣敗となりはては今の世界の戰爭になるのであります、衆生を根本的に救ひ度いと徹

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

底した慈悲と方便とを考へつめますと、日々に世界が修羅場に化しつゝありまする心を少々つゝでも和げて行き度いと思ふ本願になるのであります。

托鉢とは喜捨の心持ちをば第一番に衆生から貰ふので其氣分には感謝もしますが、米や金に禮を云はぬが僧侶の當然持つて居ねばならぬ權威であります、此心持ちを有緣の人に起こさするならば此一事は已に他の生産的事業にたづさはつてをる者にくらべては、とても比較にならぬ大事業であります、喜捨と云ふ字がこう云ふ場合にあらまし意味をなすのでありましよう。

更に此問題を深く考へますれば今一段の徹底を要します、嚴密に申ますと自分が持つてをる凡ての財物は佛のものであつて其を眞に佛の名によつて用ゐてくれる人に返す事を光榮とする心でなければなりません。ところが現在の生活狀態では到底此心を持つ事を許しません。そこで私どもの要求は僧侶の方にはこうした心持を日常の生活の上から離さぬ樣に私どもに敎へ衆生は之を實行しますならば何物にも執著せずに所謂上衣を求むる者に下着をもあたへよとのキリストの敎へも其儘行ふことが出來ますが此事は實に容易ならぬ問題であります、此一つの事が面倒な爲めにたま〳〵傑出したる人天の師が出まして一代を敎化仕樣としても直に道が生活問題の下に踏まへられて仕舞ます、宗敎の光りが生活問題の爲めに消されまする以上此世の權威は宗敎の手より現實的な何物にか移つて仕舞ますかやうな場合には托鉢も深き意味はありながら自分も權威を疑ひ、多くの人も認めぬのであります。現代思想が此托鉢に深き注意を拂はぬのは無理ではありませんが現代も種々の點に於ていきつまつてをりまする以上は思ひ切つた研究の結果新らしい生活法を發見するかも知れません、叉せねばならぬと思ひます、此時に於きまして此托鉢は最も重大なる意義ある事を新たに感ずる時が來ましよう、兎も角もおろそかにしてはならぬ問題であります。

西洋では各家庭で生活費の豫算項目の中には必ず多少の喜捨費が記入してあります、大都市になればなる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

程大規模と大組織で之等各家庭からの喜捨が集められます、此集められた金品は養老院、育兒院、勞働者宿泊所、少年倶樂部、婦人ホーム等の成立となつて多數の弱者を救濟してをります。

少年倶樂部と云ふ名目は如何にも美しい響きが致しますが實は孤兒の收容所であります。之の孤兒は皆いづれも十二三歳で已に獨立してをるので孤兒等の職業は重に新聞賣りです。朝刊、日刊、夕刊、號外等勢力の續く限り賣り歩きまして倶樂部に拂ふべき一日の費用を得て始めて倶樂部に歸りますと入浴の設備はあり少年の營養に必要な丈の食事は用意してあり、肌着は洗濯出來讀書娛樂の設備は充分で誠に居心のよい家庭となつてをります、勞働者宿泊所は無職の立ん坊の樣なものが無賃で一泊の宿を借るのです、こゝの設備はさまよひ込んだ立ん坊を消毒湯に入浴させ其間にぬぎ捨てたる衣服は附屬の大規模の洗濯室に移されて入浴中に洗濯し乾燥されて浴後心よくさつぱりしたのを着せられるのです、然しこゝの門を潜るといつ迄も無職では居られないので必ず一定の職に就くか又は怠惰な浮浪人は再び立ち去らねばならぬ破目になるのです。こんな風に西洋では喜捨する物品の行衞が明了に告げられてありますので若し自分一人でも豫定の喜捨を怠るならば自然誰かゞ必ず困つて居るであらうと云ふことがはつきり解つて居りますので人世の義務として心から喜捨致すのです、會からは必要を打明けて廣告郵便で各家庭に通知致し後事務員をして戶別訪問をさせますが、訪問を受けて敢て不快の感じを起こした事は一度もありません、日本の現在は何だか樣子が違つて居りまして、廢兵の押賣、孤兒の强請、苦學生、失業者、養老院などの押賣や强請に參りまするが進んで喜捨仕樣と云ふ氣分になれませんのはどうやら先方の心がけが不充分だからだと思ひます、所謂新らしい生活法によつて之等一切の問題を都合よく解決する事が出來るならば自分等は此新たなる氣分によつて無限の喜捨をしても差支へのないものだと思ひます、

欲求に次ぐに鬪諍を以てし貪らんの果は絕望に陷る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は病的の現象に過ぎぬのであります
慈雨が無心に降れば、若葉が無心にして茂ります、
若葉が無心で陰れば人も亦無心で其下にいこふのであります、此自然のまゝの境涯にこそ喜捨も満足もあるのであります、

手紙の裏

玉露女

これはいつぞやの手紙の主人公美智さんの手紙のつもりです

玉露様！　新眞婦人へお書きなさつた貴女の手紙――拜見致しました私に代つて私の心持ちを同情ある筆で告白して下すったあの手紙　玉露さんは解つて呉た世の中の誰も彼もが　淺ましい汚らはしい　と眉をひそめて私を捨て去つた後も　玉露さんだけは親友として殘つて下さるのだ………とまあどれ程嬉しさに泣いたでせう！　何日に變らぬ貴女の情け　あゝ有り難う御座います。

さうは云ふものゝ　矢張り私は恥かしい　世間は勿論貴女にも………第一對手の柳様に恥かしくつて堪らないんですもの………何の因果で若い美しい處女時代を過ぎた今頃兎も角も平和で無事な境遇から　こんな身の上に變るやうな心が出てしまつたのでせう………

今日の朝日新聞の島崎藤村様の春を待ちつゝを御覧になつたでせう？　アベラアルとエロイズの事蹟を歌つたヸロンの詩

Where's Heloise. the leaned nun.
For Whose Sake Abeillard I Ween,
Lost manhood and Put Priesthood on?
(For Love he won Suchdule and teen!)
And where I pray you, is the Queen
Who willed the Buridan Should Steer

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Sewed in asacks mouth down the Soine?…
Rut Where are the Snow of yester……year?,,
(The hallad of Led Ladies)

而して又藤村さんのお書きになつたお言葉

情熱ある者と雖も　眞に其情熱を寄すべき人に遇ふ事は難い　たま〳〵此遇ひ難き人に遇ひ得た時　恍惚の深い世界は展開する

と仰有つてダンヌンチオの天才の火花も　或る意味から云へば　デユウゼに遇つて眞實に迸つたとも言へるとありました

私は又前にある人が「人は丸い玉のやうなものを神樣が半分づゝにして此世へ出されたのだから何處かに必らず他の半分が有るに違ひ無い　其他の半分にはからずも遇ひ得た曙にはすべての事は殆ど問題にならない　勿論そこに熱烈な戀も起らうし　人力で如何んともしがたい事件も始まるであろう」と云ふのを　聞きました

其ベターハーフ　とも云ふべき人に　夫を持たせられた（玉露さん私は此處で夫をもつたと云ひません）後で出遇つた私の苦惱煩悶は嬉しさ樂しさの裏にひたと脊合せに付いて居ました　而して遂々私達二人はどうしてもこうなるより外に生きて行く道が無くなつてしまつたのでした

逝く春のあはれを誘ふ四月の末　貴女方と御一所に賑やかに歌舞伎の助六を見たのは　私が今迄の華やかな生活の名殘りでした　どれ程僅かの機會でも逢はずに居られなくなつて居た私はあの晩直ぐ皆樣にお別れして彼を呼びました　プランタンの電燈の光の下で　傳兵衞の戀や　揚巻の戀の噂をした私達は朧ろ月夜の都大路を日比谷まで歩きました

「しんぞ命を揚巻の……」と此頃習つて居た一中節を小聲で語る私の傍で「そりや聞こえませぬ傳兵衞さん……」と語つて彼は笑ひました　花はちら〳〵と散つて居ました　若草をふんで奥へ〳〵と行くうちにあまりに時の經ち過ぎて家へ歸る時間が遲れるのが心配になつた私は「もう歸ります」と云ひました

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「此次はいつ逢へるでせう？」

と聞く彼に私は答へる日が思ひ當りませんでした　遣瀬ない思ひにうなだれた私の肩へ手が懸つた………

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

突然の人の足音にハッと我に返つた時、私達の傍へは角袖の人が立ち寄りました

「何をしました」驚く二人に浴びせかけた汚らはしい其人の言葉と堪え難い侮辱……あゝ今更書くのも辛う御座います

何でも歸して貰はうと願つた二人を何でもいまはしい場所迄同行せよと迫つて聞きません押問答は長い時間續きました逃れられぬはめに落ちて私達の本名は其人の手帳に記されてしまひました

其時銀盃を浮べた樣な月の下ではら〳〵と散る花片を浴びて眞青な顏して立つた彼は

「僕は何處へでも行きます、何卒婦人だけは家へ歸して下さい」

と云ひました　なへた角袖の人の前に豊かな脊廣の姿が浮き出した樣にてらされたのを見て　私はいつも醉て遲く歸る夫が我子の夜泣きに眠りをさまたげられるのを怒つて「こんな子供は死んで呉れればいゝ」と云ふのを思ひ出しました

而して此人が引立てられて行くのを見て　どうして私一人家へ歸れやう　と

「さ何卒私もお連れ下さい」。

と申出ました　三人して公園を出た時に深夜の大通りは人影もなく赤い電車も通り過ぎてしまつて居ました

それで其夜から私は家へ歸られない體になつてしまひました

愼しみに愼しみ堪えに堪えた私達二人は　大切に〳〵墓をへだつる彼の世迄も清く美しく持つて行かうとしたものを　一夜他人の職務から來る疑のためにふみにぢられた情けなさにお互にすまないと思ふ心が火になつて　名譽も地位も恩愛も義理も燒き盡し燃し盡して其日迄恐れ避けて居た世界へ落ち込んで來てしまひました

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

【天賞堂本店電話新橋三三三、三四、五七〇】

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科婦人
科小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後
醫員診察 午 後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

戸板裁縫學校

▲校長　戸板せき子

▲沿革　本校は明治三十五年二月の創立にして、爾來十有四年、其間卒業生を出すこと實に二千四百有餘人なり……明治四十五年三月規則を改正し、大正二年二月更らに學級を増設して夜學を開始し、更らに規模を擴張して教員養成所を設く、而して同年五月二十六日文部大臣の認定を受くるに至れり、同年八月二日組織を改めて財團法人とす

▲修業年限其他　豫科修業期限は三ヶ月以上一ヶ年以下とし其力に應じて之を定む本科修業期限は七ヶ月とし之れを前期三ヶ月後期四ヶ月とし、學期は毎年一月に始め七月に終り四月に始め十月に終り七月に始め一月に終り、十月に始め四月に終る

高等科修業期限は本科と同じ

中等教員養成科は修業期限を二ヶ年とし入學期日を毎年四月十月の二期とす（高等女學校五ヶ年の課程を二年に短縮したるものにて卒業の後は中等教員檢定試驗を受くるの特權を有す）外に尚ほ研究科あり

文部大臣認定
財團法人
私立 戸板裁縫學校
東京市芝區三田四國町二の十六號
電話芝四四八九番

藤本藥學士數年間研究の上發見せらる現代の奇藥ピローゲンは凡そ身体中生ゆべき所に毛のなき人、髮の毛薄き人、ぬけ毛の人、確にはへる偉効は論より證據各實驗者の證明にて明かなり他の毛生へと違ふ彼れ是れと迷はずゼヒ御試しあれ他に類のなき毛はへ藥代金はかわせ又は振替にて御申込あれ

價大二圓、中一圓、試六十錢、特製三圓、送料は各八錢

東京兩國橫山町三丁目
發賣元 玉置文治郎
藥種問屋
電話浪花 五百十番
電話浪花 五百十一番
振替東京四五一四番

噫々嬉しい

新案特許 第三三九六七號

美顏化粧器

美人となる器械應用の發明!!!

本器は皮膚病諸大醫と美顏術師の意見を參酌し從來の美顏法にては總て其無効を唱へつゝあるを慨し多年苦心研究の結果發明したる空前の生理的器械療法にして其効力の偉大なるは今回大日本政府より新案特許の認可を得たるのみならず美顏術大家の感謝狀又は有効證明書を頂く、以て本器の如何に有効顯著なるは推して知らる可し今や貴婦人令孃理髮師俳優藝妓社界の愛用を蒙り深く弊店の光榮とす、世に顏の色黑き人ニキビ吹出物にて苦む人油性の爲め白粉の延悪しき人色々の藥も其効無き人は速に本器を用ひて素顏の美を發揮されよ使用度毎に拭ふが如く其の効を現はし自ら驚嘆せらる可し使用法簡易にして何人も容易に使用し得且永久破損の憂更に無し

▲定價金壹圓八拾錢送料八錢市内四錢

發賣元 東京神田區表神保町一 十二堂藥局 多々良初一商店
振替東京二八八二 電話本局二八四五

全國各藥店有名化粧品店にて販賣、若しなきとは發賣元に申込まれよ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

株式會社 東海銀行

本店 日本橋呉服町
堀江町支店 日本橋堀江町
本郷支店 本郷三丁目
赤坂支店 赤坂田町
本所支店 本所龜澤町
京橋支店 京橋尾張町
三田支店 芝三田一丁目
淺草支店 淺草並木町

帝國貯蓄銀行

銀座二丁目河岸通（電話京橋八一五 八一六 三一七四）

飯倉支店 飯倉三丁目
赤坂支店 赤坂表町
四谷支店 四谷大通り
本郷支店 本郷一丁目角
神樂坂支店 牛込神樂坂上
吾妻橋支店 淺草花川戸
須田町支店 神田須田町
兩國支店 兩國元柳町
品川支店 南品川一丁目
横濱支店 横濱戸部町

代理店 日本橋坂本町田中銀行

◎一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候◎毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

定期預金　六ヶ月以上年六分

當座預金　百圓ニ付日歩壹錢

特別當座預金　同　日歩壹錢貳厘

合資會社

田中銀行

東京市日本橋區坂本町七番地

電話浪花一九九番・二四〇番

社長　伯爵　柳澤保惠

專務取締役　矢野恒太

取締役　大橋新太郎

取締役　服部金太郎

取締役　日比谷平左衛門

監査役　柿沼谷藏

監査役　濱口吉兵衛

相談役　池田謙三

相談役　森村市左衛門

第一生命保險相互會社

東京市日本橋區通三丁目一番地

電話本局一七三七、一八九七、特長一三七三

郵便振替貯金口座東京一三一

東京市麴町區內幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座　東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長　中村靜嘉
專務取締役　楠秀太郎
取締役　村井貞之助
取締役　內野五郎三
取締役　前川善平
取締役　倉知誠夫
取締役　左右田棟一
取締役　舟木錬太郎
監査役　潮田方藏
監査役　左右田信二郎
監査役　中田敬義

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

クスリはホシ薬に限る

ホシ風薬
四季引風▲頭痛▲發熱▲流行感冒▲痰咳等凡て熱性
三包五錢　七包十錢　十五包二十錢

ホシ痔劑
痔疾一切▲脫肛▲出血を止む
二個入十錢　五個入二十錢　十個入三十五錢

ホシコロダイン
胃病▲腹痛▲中暑▲食傷▲吐瀉▲溜飲▲眩暈
小瓶十錢　大瓶二十錢

ホシビーナス
腦病▲神經衰弱▲耳鳴▲ヒステリー▲鼻茸▲不妊症
小瓶二十錢　五十錢　大瓶一圓

資本金百萬圓

星製藥株式會社

東京市京橋區南傳馬町三丁目

電話京橋(特)一七八五至三〇二〇番三二一三番(振替東京二〇五二二番)

落ち込んで我に返つた時たゞ固く強く結び合つた一個の玉の様な自分達が有るばかり、世間も人目も仰ぎ見るにも堪えない心でした、其所に思ひもうけず貴女のお情けがうつりました　暗い穴の底から御空の星を見出した様に　はるかに〳〵二人は淋しく微笑みかはして玉露さん!!!　となつかしいお名を呼びました

「あゝ何も彼もうき世だわねエ　妾達は丸い玉で無くても　どうにかして轉がつて居る内には少し位いびつでも納まつて行くかも知れないから何でも精出して旦那様に惚れるんですねエ……」とでも云つて何時もの様に面白さうに笑ひながら心の中で私達二人をあはれんで下さる貴女のお姿も暫く拜見至しませんねエ

いつまでも〳〵幸福に暮して入らしつて下さいまし

では御機嫌よろしう!!!

美智子

玉露様
御許へ

偶感

蘇泉子

1 滔々と胸血たぎりぬ吾ひとりさびしき心に君を思ひて

2 電燈の青き光りに寐もやらず戀しき里の君を思ひて

3 春の夜の永き夢路をたどり得じやさしき君が心偲びて

4 なづかしき筑紫の原を思ふ夜はまた晴れやらで小雨ふるなり

5 おばしまによりて戀しき南國の君を思へば涙わりなし

6 古里の君思ふ今宵春雨はいとも靜かにふり注ぐなり

7 さびしさに友をば思ひ家思ひはかなき戀のあとを思ひぬ

8 焰もゆる胸の亂れを押へかね春の一と日を思ひ暮しぬ

9 寂寥の旅寢の床に夢さめて悲哀はまさる君と別れて

10 戀しさとなづかしさとせきあげて悲しみたえぬ春の朝雨

11 朝の雨ふりやみぬれば悲しみも漲らぎ渡る獨り身の旅

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少年團

大正二年九月に出來ました少年團の第二回入團式が、去る五月九日午後一時より牛込若松町の振武議會で擧行されると云ふので、行て見ました。其節同團の事業報告書を貰いましたが、ソレによつて見まするに、同團では凡そ毎月一回づゝ行軍をして居ります、而して其の行軍から得た美點に就て左の如く書いてあります

一、精神的修養となる
　十五代將軍葬列參拜
　日露戰と兵士と國民
　　（石井中佐の講話）
　乃木大將邸參拜講話
　乃木大將出生地の踏査
　櫻井大尉の訓話
　幼年學校御在學中の二殿下の御事日
　日獨戰爭と日英兵士
　　（武田　中尉）
　上村大將の訓話
　其他の現地講話
一、學校の事業を補助し裨益を與ふ
　各種の見學講話
一、學問を面白きものとして學ばしむ
　芋掘り
　博文館印刷所報知新聞社に於ける印刷術
　飛行機見學
一、智識修得に理由を與ふ
　ライチン齒磨製造の分業
　大砲操縦
　飛行機操縦
　新聞社
一、學校にて學べる事柄を實地に應用す
　所澤町に於ける地圖の作成、讀方、青山
　所澤に於ける距離面積等の目測
　手紙の書方書信の方法
一、自發活動をなさしむべき境地にをくことを得
　目黒芋掘り
　飛行機の實測
　所澤地理踏査、斥候動作
　團員看護
　團員の指揮
一、性格淘冶
　伊藤公、吉田松陰、桂公
　乃木大將其他名士の展墓
　日比谷飛鳥山の共同游戯
　松陰神社信道院等の參拜
　罹病者の看護
一、意志淘冶
　雨雪中の勇敢なる行軍
　粗食に甘んず
　飲料水の欠乏を忍ぶ
　實地踏査の苦心
　獨立の自主
一、品性改善
　一日一善の習慣
　活動作規律正しくなる
　粗暴のもの自重するに至る實例
　小膽なるもの人になれ快活となる
　食物に對し彼是いはぬ
　輕卒者稍愼重となる實例
一、公共的作業
　國技館少年大會に於て獻身的に保護統督す
　公園地に於て不用物整理
　犧牲となり共同物運搬をなす
　書狀配達（五百餘通）
　入團式場整理雜務に從ふ
一、校外に於ける自然研究
一、身體鍛練
　房州に於ける海水浴
　雨雪中を忍び行軍す

此の文字は最も能く少年團とは少年にドの樣な訓練を與へるものなるかを現はして居るものと思ひます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

工女の轢死（二）

大月高陽

その翌日でした。私は晝食を早めに仕舞つて、神田の方へ用達しに出ました。何時もの癖のやうに、その日も春日町の停留場の所で世界新聞の夕刊を買ひました。その頃、小石川傳通院前で七人殺しがあつたので「事件益々迷宮に入る、更に手掛りなし」と云ふ二號活字が、雜報欄の上の數段を埋めて居ました。小川町で下りて用事を濟ました私は、停留場へ出ますと、新宿行ばかり何臺も續いて、暫くの間待たされました。何氣なく夕刊を擴げて見て居ますと「斧の響」と云ふ劇名を太枠の中に出したみくに座の廣告が眼に着きました。

それから卅分許り後の私は、人込みのいきりで蒸さるゝやうな、活動小屋の中に立つて居ました。平生人込みの中は餘り好かぬ私は、それでも我慢して、背の高い前の男の帽子を氣にしながら、爪立つては、畫面のヂヾヽヽ……と展開して往く樣を瞶めて居ました。「斧の響」に移る迄には、可なり澤山な映畫が移り替り〳〵出て來ました、悲劇よりも喜劇の方が多くありました。私は可成、氣分をそれ等の喜劇で動かされないやうにして「どんな心持で、彼の工女はこの小屋の中に立つて居たゞらう、今見た喜劇が、彼女の心持にはどんなに映つたゞらう、そんな、人間が、この人込みの裡にも潜んで居るのか知ら、好いからこれで活動を止めさしてやりたい等と云つた樣な、種々の事を考へながら、努めてその工女の心持に近い樣な氣を喚り出しながら立つて居ますと、パット明りが入りまして小屋の中は明るくなりました。見上げる二階三階には柘榴の實を見たやうに人の顏が澤山並んで居ました。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

丸くなつた天蓋では色彩の附いた花電氣が、星のやうに點つて居ました。パチ〳〵と子供達の喝采につれて背の高いフロックを着た金椽眼鏡の辯士が出たので、今迄胴摑みにして居た引札を見ると、それには紙一面に斧形を出して、斧の刃金の線の處で、その輪廓を二つに仕切つて、右の方には、藍刷りで、上野山王臺の夕陽の光景の中に、ベンチに座睡して居る田舍出らしい青年と、この傍に荷物を奪はうとする男三人、西郷銅像脇の彼方に釣りの歸りらしい釣竿を持つた白髯の老人親子とが描いてあつて、殘りの輪廓には、赤い蹶出しも露はに、眞逆樣に鐵橋から落ちてる女の姿、その上には、今し來かゝつた列車が黒煙を吐いて走つてる繪が書いてありました。「この繪の女だな……」と、暗に工女のある心持を探り中てたやうな氣になりましたが、何うも未だ手が屆かぬやうな氣もしました。汽車は凄まじく鐵橋を走つてるが、避難所の鐵欄に摑まつて、女を突き落してる、毬栗頭の男が描いてあるのが、私の索める氣分とは外れて仕舞ひました、私は殊更それを結び附けるやうな無理はしませんでした。從つて、その喰ひ違ひは、遂に活動が終る迄、一緒になる事は出來ませんでした。

「斧の響」の筋を手短かに云ふと斯うなんです――秩父のとある山中の樵夫の子で、彫刻好きの青年本庄禮三が上京してその道の研究を始めやうとする。元來、この子は樵夫の實子ではなく、嘗てこの山中を通りかゝつた旅女の子で、その母が癪に惱んでる處を、惡漢が眼を附けて、懷の金を奪はうとするを、この老樵夫に救はれたが、母はその場で果てたので、遂に老樵夫に引取られて實子同樣に育てられたのです、處が老樵夫には丁度好い年頃の娘(お千代)と云ふ娘があつたので、東京へ出發の當時夫婦の約束をさせるのです。

これが映畫の發端で、引札に描いてあつた右の繪は禮三が山王臺で　今着いた許りの旅の勞を休めてゐる所であります。所が禮三が山王臺で西郷の銅像に見惚れて居る裡に、宿引の惡漢に襲はれて、取組み合ひを初める、それを通り掛りの老人に救はれて氣が附くと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何時の間にか熊の子程大切な所持金三百圓をすられ、吐膽を拔かれてる途端、端なくも日比の自分の手彫の木像が、通り掛りの老人（禮三の師にしやうとし目指して上京した斯界の名人）の眼に入り、その天才的の刀跟に、危い身を救はれて、遂にその弟子となつて居る裡に、郷里では老樵夫が嘗て手にかけた惡漢の弟が又してもお千代を嬲らうとするのを、老翁が見つけてこれと手斧の爭ひを始め、遂にその惡漢を打殺したを因果に老翁も自殺したので、お千代は東京の禮三を訪ね上京しました。禮三は遂に日暮里にお千代と同居して、創作に從事して居ると、その頃身延山改築の爲め十二支の彫刻物請負ひの一件が起つて、それが禮三の手で仕上げる事になつたので、嘗ては戀仇で禮三を憎んで居た友人が、貧しい禮三の、高利貸に負債があるのを好い機にして、散々高利貸に虐待させ、果てはその仕事道具を抵當に取つて往かせると云ふ大騷ぎ。禮三は仕方なしに、金の工面に出て往つた後を、お千代は乳呑子を抱へて案ずる結果、好い程の思案も出ず、身を賣つてもが、夫のこの急場を救ひたい、それが爲めには子供を捨てなければならぬので、とある良家の門前に捨てゝ出かけると、嘗て秩父の山中で、自分が嬲られ、且つは父の殺したと思つて居た惡漢の彷徨するに出逢ひ、端なくも大立廻りとならうとする鐵橋の上まで追掛けられ、互に格闘をして居る折しも、汽車が黑煙を吐いて鐵橋を渡りかけたので、お千代は逸早くも河の流れを目懸けて、一飛びに跳り込みました。

茲迄、チラ／＼するフイルムを瞶めて來た、觀客はフツと大息を吐きました。

「マア好かつた………」

お千代の惡漢に追及せられる邊から、汽車のピイ／＼汽笛を鳴らして來る迄格闘して居た映畫をハラ／＼しながら見て居た傍の婦人で、斯う云つた女がありました。私もそう云つた心持になりました、彼の場合、お千代が鐵橋から元氣よく一飛びして河に落込んだことは、私には決してそれが悲觀しての身投げだとは思はれませんでした、屹度彼女は深い水の中でゝも、この

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

苦境から生き脱れやうと考へて居たに違ひありません彼は死の一線の大飛躍を試みて、その彼岸に生を索めやうとしたのだと考へさせられた。すると、私の心には、引札の繪で工女千代の氣分にはぐれた焦かしさが蘇返へりました。

映畫中のお千代は遂に深い水の流れの中に一命を辛くも取止めました。その引揚げられたのが、夫の恩師なる彫刻家で、そこに馳附けたのが、自分の捨てた乳呑兒の拾ひ主であると共に、後になつて分つたやうに我が夫禮三の實の親たる老華族であつたのです。映畫は一鎖り〳〵お千代の幸福を描いて進みました。氣の小さい女の觀客達は、一息々々、歡喜の吐息を吐きながら、

「へー…………」

「オヤ…………」

「何んて幸福なんでせう……」

等と云ひながら、我れ知らず胸を躍らす樣になりました。お千代のこの事件と相表裏して、夫の禮三は見事に製作を終つて、今し身延山の門前で、我知らず自らの鑿の跡に見惚れて居ると、身延山のお上人が緋の裝束でお禮に來る、恩師の彫刻家と實父の老華族が、お千代と娘を連れて出て來て、互にそれと名乘り合ひ、久し振りで親子の對面もすれば、妻との嬉しい睦言も交し、果ては嘗て仇敵であつた友人も高利貸も、その製作品の飾り附けられた前で叩頭謝罪するやうになり高利貸はこれこの通りと、證文を八つ裂きにすると云ふので大團圓でありました。

私は思はず大息を吐きながら、雜沓の人込を拔け出て、瓦町の停留場の處から電車に乘りました。そして宿に着くまで、斯うした活動見物の歸るさ、死に〳〵往つた工女のことをそれこれと考へさせられました。この道を鶯谷迄電車で往つたのか、それともトボ〳〵と歩きながら往つたのだらうかと思つて見ました。「活動寫眞で身につまされて死にます」と引札に書置をした工女の心持は、遂に私には分りませんでした。

けれども、一つ二つ思ひ當ることは、劇中の女主人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

公がお千代と云ふ名で、自分の名と暗合したと云ふことが、幾分その工女の氣分を感激に手傳つた事と思ひます。それのみならず、印刷局にでも勤めなければならぬ苦しい淋しい身空で、祿でもない男に引懸つて、散々に氣を揉まされ、果ては遁げ出されて、處もあらうに、つい近くの花屋の娘と一緒になつたと云ふことが、印刷局の工女として應はしい從順しい女の心をして轉倒さしたのでせうと思ひます。

鳴呼、何と云ふ無智な、哀れな女でせう。

今の私には斯うした、無智な女の生活の破綻を罵る丈けの多少の智慧はありますが、さりとて、自分にも感興に轉倒し易い性狀が何處かに深く潛んで居ることを否定することは出來ませぬ、否、それは自分のみならず、人間性の一面に、斯うした感激の轉倒性を持つて居ることを事實と信じます。それが何となく私をしてこの無智な工女の礫死を考へさして仕方がありません。

鳴呼、哀れな、無智な女よ。せめてもの事、彼の世で幸多い生活を續けて呉れよ。お前の礫死によつて、お前よりは最つと大きな感激の轉倒に俺は生きやうとするのだ。その時は、最早人間の無智と云ふことは、何もお前を煩はすことゝはなりはしないだらう。

動物愛護會例會

五月十五日夜、神田の多加羅亭で動物愛護會の例會が開かれ、案内を受けましたので、初めて出席して見ました。來會者二十餘名で、當夜札幌の佐藤農學博士の講演がありました。博士は明治の初年頃に、北海道で如何に馬が虐待されたかの話から始めて、其後の變遷を談り、併しまだ〳〵である、動物を愛護することに付では支那人の方が進歩して居ます、私は滿洲で支那人が士官が兵士を指揮する樣にたゞ、聲で馬を動かして居るのや、豚群を手の振り方で動かしてゐるのを見ましたと談り、更に英國では、今日農業牧畜は衰微してますが、併し馬など良種に富んでます、之れは英國の貴族が良種を持て居ることが自慢で、金には構はず、やつて居るからであります、牛でも馬でも人が之れを愛護し、其の善き性質を遺傳せしむる樣に、永い間かゝりて盡力せれば良種は出來るものではありませんと、語られました。講話後暫らく雜談して散會しました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人俳句

島の人

時鳥湖畔に小さき草家かな
大川や雨の夜舟をほとゝぎす
鼓子花や砂に埋るゝ朽れ舟
一齊に餌掴る鷺や風光る
鍋洗ふ磨の浦曲や行々子
唄(バイ)打つて罵しる兒等や路次暑し
五戸の村皆蔵ありて幟かな

○

潤子

風呂桶の尻乾す寺や五月晴
手に立ちし刺の疼(ウヅ)くや暮の春
酒くさき僧に遭ひけり朧月
一八や昔のまゝの御師が宿
舟あらず誰が悪戯や夏の月
雷に香焚く軒の嵐氣哉
市に出しものゝ哀れや竹婦人
謡習ふ蒸し暑き宵の灯影哉
雷獣を見世物に見たり夏の宵
黒ばえや畫を燈に讀む尼の經

○

くみ子

日永男の鼻毛抜き居つ椽の端

鹿鳴子

雪洞や衆に花散る仲の町
蚊帳買うて夏に入りけり新世帶
朝釣りや跳れし山魚に青嵐
僧一人雨の堤行く卯花哉
高々と綱干してあり五月晴
鋳掛師の鞴据えけり辻柳
沓に落ちし眉の脱毛や暮の春
所得て柳哀れに切られけり
破れ舟の腹間隱れや行々子

○

無名氏

鞍摺れに足蹇(アナベク)引馬や百日紅
花桐や雨に仄めく佛の灯
柳植えて雨に嬌めく新開地
小博打に手入騒ぎや明易き
山門や琵琶葉湯の雨やどり
温泉烟の裏山を這ふ霞かな
川筋や葭町の灯のおぼろなる
満願の闇夜更けたり不如歸
夏の菅笠に手走る那智行者

○

はつとして柳にかへるつばめかな
音もなく櫻は散りて刮みどり
新綠のがげにパラソル二つ三つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人短歌

くみ子

行く春の心にしみてかなしかり
　病みほうけたる娘のすがた

白蛇を見しと語らふ草刈の
　おのゝきふるふ五月晴れかな

花木槿を編みつる老媼の
　夕日の背に散りし一ひら

干を負ふて馬を曳き來し
　馬士の業蹄鐵工場夕日に暑し

梅雨晴れの暮を只ぼう然と
　網はる蜘蛛に見とれてありし

何となく只かなしかりし吾が心
　法の光りに失せて賢し

山吹のすれし樣なるがいとかなし
　音なき雨の旬に餘りて

所化寮に晝の灯影のゆらぐなり
　ればるが如き卯の花くだし

○

近藤なほ子

言ふもうし思へるもうしやるせなきみだれし心月に見入りぬ

解せざる人の言葉と思へどもなほ堪へがたく苦しかりける

たへがたき怒りを包み其の胸の痛さををさへ笑はんとする

默すとも答へしとても此の心視らるべき夜に鋭き御目に

此の雨に花失せたりと聞きしかど思出日あり惜からぬかな

○

島の人

月島に朝の日を浴び夕虹を吸ひて事なく吾住めりけり

かゝり船皆帆を乾せば夏近よ群青の川光り輝く

船士の業偉なるかな糸引けば大船吼えて渦捲きゆくも

心なく物噛む癖よ君と二人夜の濤聽きて默せし日より

○

無名氏

春秋も三十一文字の數つもり
　今こそ知りぬ。親のなさけを。

戀すてふ。やさしき事を知りそめて、
　獨り居る身の寂寞を泣く。

うら淋し、五月雨の降る宵我はしも
　そと寫し繪に、くちつけて見ぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十二歳から廿一歳迄の女（續）

みをつくし

——母親が娘を誤解するのは此の時代——

前にも云つた樣に、十四五歳の娘は内的にも外形にも著しき發達をする。殊に智識慾の熾んな事は意外である、從て色々の事を考へたり、望んだり、企てたりする。色々の事を爲ないでは居られないのである。然るに母親たる人の多くは自分の娘のさうした樣子を見ると必ず理由なく頭から壓へつけてしまふ。つまり母親に少しも思ひやりがないのである。娘は一も二もなく止められるのが不平でたまらぬ。その不平は何時までも心の中に貯められて居るものではない、必ずや何かの機會をつかまへて發して出なければならぬ、もし外部へ出なければ、丁度腫物の膿が出ない樣に、内部に向つて害毒を擴げてしまふのである。

娘の側に立つて考へてやる事は母親の慈悲の第一である。

——同年輩の娘達の間の友情——

年頃の娘の心理作用の特性とも見られるのは、一種の變態の愛情である。

女の子の愛情深い事は實に美しいもので、家の中を美しく飾るものである。が之の愛情が時によると友人——同年輩位の娘に對する熱烈な友情に變る事がある否必ず年頃の娘なら、さう云つた友情の發露を常とするのである。

甚だしいのになると、自分を忘れ、權利とか義務とか云つた樣なものは一切忘却してしまひ、親兄弟の事も考へず、勿論勉强なんか投げ出して其相手の娘を愛

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

する。親の苦い顔をするのも無理のない程になる。即ち同性間の戀愛であつて、さうなつて來ると其の結末は那邊まで行くか判らない。注意しなければならないが、さうかと云つて頭から壓へつけて禁止すれば、必ず娘の心中には大なる不平を作り、悲觀となり厭世となり、遂には意外の方面に向つて爆發するに至るのである。

愛情は美しいものである、特に若い娘には一層望ましいものであるが、さう云つた樣な變形の友情は危險である。尤も早熟の異性間の戀愛よりはましではあるが、兎に角病的の心理狀態である。

「靑年は痴愚の時代なり」と或る人が云つたが、實際である。

――少年少女間の早熟的戀愛――

少年少女間に時々見られる早熟の戀愛は有害である。豫防しなければならぬ。尤も此の事は佛國の心理學者リボ（Ribot）の說――性的本能は此の時代に於ける唯一の權威であると云ふ說の信じられて居た最近迄は少年少女間の戀愛も重要視せられずに居た。けれ共最近の學說ではさうではなくて、性的本能は種々の混合せられたものに過ぎないと云ふのが一般に認められるに及んで、かゝる戀愛は變態で有害であるとせられて居るのである。實際に此の時代の性的本能は、靑年時代のそれの如く純粹でない、少年時代を開發して行く種々の心的要素の混合物の一である。即ち少年時代の戀愛は、單に愛他的感情や群居を好む性質に性的戀愛の幾部分が混合して出來上つたものに過ぎない。殊に大人のそれを見倣つたり模倣したりしたもので兎に角有害であるのは事實である。大人のそれを見習ふ外に最も多く其原因をなすのは、安價小說だとか、いやしい戀愛記事を讀む事である。

人によると又恁う云ふ――少年少女間の戀愛は實に無邪氣なもので、非肉慾的である、それによつて容姿や身嗜みの開發に刺戟を與へる利益があると云ふ。けれ共それは一面の觀察に過ぎない、他の方面を見ると、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

そんな小さな利益以外に大きな害がある。卽ち勉强を怠つたり、徒らに嫉妬猜疑の念を增長させたり又詐欺を働らく等の結果を來たすのである。純なる少年少女の頭腦を邪の方面に向はせる、心身共に其發達を害するものである。

そこで恁う云つた病的狀態に陷つた子供に對する最良の處置は、つとめて相手の男の子と一所に居る機會をなくする事である。つまり隔離させる事である。元來さうした戀愛は變態のものであるから、眞の成熟した戀と異つて性質上シッコクない、從つて隔離して置けば直ぐ忘れてしまふし、又其結果惡い影響を來たす事もない。都合のいい事には、此の時代は發達の最も盛んな時であるから、相手と少しの間離して置けば其間に双方共心身上に大なる變化を生ずるから、今度兩人が出會つても、以前のさうした心持になる事はなく、却つてきまり惡い思ひをする位の事で濟んでしまふ。

前にも云つた樣に此の戀愛は、不健全な思想、無茶苦茶な暗示から起つたものである。それを世間の親達は、さうした兩人の相思の狀態――病人を見ると喜んで居る。天眞爛漫だとか何とか云つて此の病人をすてゝ置くのは大層な間違ひで、遂には救ふべからざる不具者――精神上には早熟となり、肉體上には發育不良のものにしてしまはなければならぬ。

――若い娘と年長の婦人――

十二才から十七才迄の娘に限つて普通見られる性情の一態は、自分より年長の婦人に對する熱烈なローマンチックの友情であると云ふよりは戀愛である。是の場合に其兩親なり又は保護者は如何なる眼を以て看張りをするかと云ふに、通常は、さうした情愛は不自然である。年少の娘の方には一向害がない、却つて娘の性質に有利な結果を與へる、甚だ結構な事だと云つて看過してしまふ。考へて見ると誠に理由のない思慮の足らぬ事で、さうした保護者を持つて居る娘は不幸な事である。それでは何故不幸かと云ふに、次の樣な危

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

險があるからである。

幸に若し兩當事者が常によい意味を持つて居りよい性質を持つて居たなら、双方に爲になる事であらう。各個の生活に對する年齡だとか心身の成長に關する自覺と云ふものは、往往娘に家庭の感化だけでは不滿足に堪えないと云ふ心を與へるものである。この年頃の娘が、これから入らうとして居る生活の有樣は、全く彼女にとつては何も彼も新らしい事である、自分の思想も、又各方面から與へられる印象も皆新らしく感じる、彼女の個性でさへ彼女の心に少からぬ驚きを與へるものである。だから彼女と彼女の幼年時代を支配して居た凡ての信條との間に大なる溝の生じた事を感じるのは別に不思議な事ではない、又此時代は過渡時代であり、從つて心的水平線が萬花鏡の樣に常に變轉して極りない時であるから、彼女の見地よりして、豫想的見界で覊束せられない局外者を歡迎し又さう云つた第三者に總て善意に解釋せられたい必要を感じるのも不思議ではない。何となれば、情緒的時代の特性として若い娘はみな、自分の經驗はそれが續いて居る間は單一で純なものであると信じて居るからである。

そこで本論に立ちかへつて、かうした友情關係では、年長者の品性は總ての場合に年少者の品性に全支配權を持つて居ると云へる。だから若し年長婦人か自個の地位を考へなかつたり又、其感化が如何に年少者の上に及ぼすかを考へなかつたり又、氣轉や分別を忘れて居たなら、設令其動機自身は善良忠實な性質であつても、年少者は自信だとか個性だとかを全く失つて多くの場合には依賴心の強いものになつてしまふのである。それ故若し年長婦人に信賴すべき價値がない時には、年少者の上に重大な損害を與へる結果になる。惡い性質の婦人の感化は、未だ固まらない頭腦を持つた若い娘に直ぐ受け容れられて其一生を誤まる樣になる。たとひ其害惡が意志を弱くするとか、利己とか又は野鄙な性質とか云ふ種類に限られて居ても、兎に角娘にとつては大なる損害である。

それ故、かうした友情關係が望ましくないと見て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とつたなら、その兩親なり保護者は直ちに、然し靜かに其關係を絶たしめ、兩者の間を引き裂く手段を採らねばならぬ、決して無謀に急激に引き離してはならぬ何となれば、さうした友情を營んで居る娘の感情は、衷心から眞面目で、誠實で且つ其情熱は可なり烈しいもので從つて、多くの場合、外部から與へらるゝ忠告等は好まないからである。それ故直接に急激に干渉すれば却つて娘の感情を害し、悲觀的の考を起し、干渉者に對して反感を抱く結果、夫等の忠告は何の信用もない事になつてしまふ。

要之、さうした友情――變態戀愛關係は多くの場合に、年少者の方に不利益であるから、年長婦人の品性なり思想なりが信賴出來ぬ物である場合には、直ちに上記の手段を採るのを怠つてはならぬのである。

――英雄崇拜、架空的理想の信仰――

英雄とか烈婦を崇拜すると云ふのも此の時代に顯はれる事で、換言すれば娘の心に描いた突飛的理想を追ひまわす事である。

此の特性について或る有名な心理學者は、其青年心理の研究に於て恁う云つて居る――青年時代の感情と云ふものは、概して取りとめのない散漫なものである而して自分の心に描いた空想的の人物、即ち青年と云ふものを代表する最も美はしい型を心に作り上げ、その者が恰かも實在する如き考へで、美はしい幻影を追つて走るものである――と。

即ち此の言の如く彼等は常に、さうした目標――空想のもの又は實在人物を心中に描いて居るのである。

かうした特性の與へる結果を考へるに、一方に於ては、青年の心に高尚な清い思想を與へ、光明と希望とを其心に宿さしめるものであるが、又他方に於ては、かゝる幻影を追ふ事は得て熱中しやすいものであるから、實行とか着實とか云ふ事を忘れて、空想的に走ると云ふ惡影響もあるのである。要するに之れは程度問題である。（續く）、一九一五・五・九

（次ぎには、第二、信敎發芽時代について書いて見る。）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生花について（四）

尾崎恒子

六月――雲とまがひし櫻の山も、皆な新綠の色、街樹の若柳も、洗髮の艶美しく、つゐ先頭まではソッペラポーと突立つてゐた街道の銀杏も、青々とした可愛らしい扇形の葉を見せて、實に心地よい新綠の初夏はまゐりました。さてこの月の室內の花かざりはどんな風にしたら良いかと申しますと、餘り青々したものは挿さないで、樺色の夏菊、千鳥草、小町草、芍藥、姫百合、夏すかし百合、鐵砲百合、立田撫子などのやうな可愛らしい艶のある花を小ぢんまりと女性的に挿す方が室が優雅に見えてよろしいのです。殊に花菖蒲などは澤山挿しますと、理髮店の鏡の前かミルクホールのテーブルの上のやうで下品になりますが、水色美しい一二輪に葉をあしらつて黑塗の花手桶などに挿しますと、見ちがへる程上品に凉しやかに見えます。

以上は投入れに就てのおはなしですが、これから少し初夏の書院花に就ておはなし致しませう。當世向きの投入花と違いまして眞の生花卽ち書院花と申しますと一寸むづかしい古實、法式等あるもので一々その座敷の格好及び床の作り方に依り花の生方をかへなければいけませんし、又その時、主客の模樣によつて花の用ゐ方をもかへなければいけません。

で六月の生花と申しますと、まづ氷室の花といふのを儀式花の第一としてあります、氷室の式と申ますとむかし德川時代には諸大名方で庭內に大きな氷の室を作りおき、寒中降つた白雪を其の中に貯へておきまして六月朔日の朝早くその室を開いて雪を取り出し將軍家に献上致したのださうです。其の白雪献上に就て諸大名がいろ〳〵の趣向をしたものださうですが中に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

百萬石の加州家では、糸柾の桐の白木作りの四角な箱に寒雪を降り込ませて其の上に寒紅梅の花一ト枝を載せ蓋を密封してそのまゝに例の氷室の中に貯へおき六月朔日の朝取り出して箱のまゝ献上したものださうです。すると將軍家では將軍の御前にてその箱の蓋を取り開きます、と今まで白雪の中に封じられてゐた寒紅梅の花は俄に熱い六月の氣にふれてパッと莟は一時に開いて馥郁たる香を放ちます。これを氷室開の式と申します。

その式の日將軍家書院の御床には露したゝる白菊の花九輪に茅の葉五枚をあしらつて挿けました。これを氷室の花と申て生花の方では六月の儀式花として秘傳の一にしてあります。

それから五月雨の柳、と申て若柳に夏燕子花を水盤に挿けます。まづ水盤の眞中より少し右なり左なりに片よせて河柳の若葉を古木にあしらつて枝垂かげんにいけ、その根方少しく離れた處へ燕子花一株（花一輪五枚）を小さく挿けます。そして柳の葉に充分に露をうたせておきますと、ぬれつぼめ飛ぶさみだれの風情を偲ばせてなか〳〵粋なものでございます。此の柳の露に用ゐます霧水は太白の砂糖一ト匕を五勺の水に解かした砂糖水を用ゐますと柳の葉は一層艶やかに見え又永く保ちます。

▲樂しき思出を讀む（原口鶴子氏著）　女子大學を卒業して、米國に遊學し、ドクトル、オブ、フイロソフイーの學位を得られし著者が、渡米の門出より歸朝に至るまでの四年間のコロンビヤ大學寄宿舍生活と、一年間の家庭生活に於ける日記と觀察、感想を書かれしものにて彼地の家庭生活、婦人生活を知るよき參考書です、『米國婦人は讀書趣味が廣く大抵家庭では、四五種の雜誌を購讀し、それより社交上の材料を得たり、日常生活を變へて行くので、書物は決して、飾り物ではないのです、又小說も可成り喜ばれて居りますが、其れも廣い意味で、道德的のもの、自然的のものが多く好まれ、肉感的なエクセントリックのものは非常に排斥せられます。例へばトルストイ、イブセン、ショー、ゴルキー等の作は不道德で醜惡で、非美術的であると云つて斥ける』と書いてあります。又英國家庭歷訪記の中に、『三人子供のある若い奧さんが、『夫と一しよに徒步旅行をし、毎日十里づゝも步いてゐる』なぞ云ふのは實に面白いとおもひます、私達もいつまでも老いず小供の樣に、學生の樣に書物に親しんだり、快活に飛び步いたりしたいものだと思ひます（定價一圓二十錢、麹町飯田町六丁目春秋社發行）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

公開の席上に醜業婦を侍せしむる勿れ

日本基督教婦人矯風會にては、五月十四日赤阪溜池矯風會事務所に各新聞雜誌記者を御招きになつて、左の決議文につき、協議がありました。

今秋御卽位式の大典を御擧行あらせらるゝに際し日本基督敎婦人矯風會第二十三回大會は左の件を決議す

一、大典奉祝の爲に催せる一切の公開の席上に醜業婦を侍せしめざることは勿論其他凡て風俗を紊亂する行動の取締を嚴重にせられんことを其筋に請願する事

一、精神的紀念運動として今後六年を期し公娼全廢を期する事

右の決議文にある第一ヶ條の醜業婦を公開の席上に侍せしめぬ事は、私もこれまで度々主張して來たことで、是非實行したいと思ひます、尙ほ矯風會では地方から都會に出て來る若き婦人が寄るべなき爲め墮落して行くのは同情に堪えぬ事でもあり、一方中流以上の家庭で適當な女中のない爲め困つてゐる處もどれ丈けあるか知れないから、高等桂庵の如き、「婦人ホーム」を財團法人として經營する計畫もあるとの事です既に大阪では設けられてゐるのですが成績は大變いゝとの事でその報告もありました。二三の男子記者の歸られた後、公娼と私娼についての區別、及び先づ公娼を全廢しなければならぬ理由について德富政助氏のお話がありました、又今日位珍らしく婦人記者の揃ふ事は又とない事だから此好機會に、婦人記者倶樂部を組織して婦人問題を研究する事にしてはと云ふ事から、今後每月五日に此事務所に集まる事になりました。

最後に矢島揖子先生の感謝の辭がありました「私は多年云はねばならぬと思ふ事を云つて來たが、一向に目立たなかつた、それと云ふも派手な名譽になる面白い事をしたのでないからで只その時〳〵爲すべき事を爲て居るのが私は尤も心もちがいゝのです。而して私に取つて只今ほど快よい時はありません、若い時は體も弱く云ふ事も一向に聞かれなかつたのが、此頃は體も非常に壯健で多年主張して來た事も着々實行される時期が到來したからであります。ズット以前大隈伯が外務大臣になられた時も祝賀狀を奉つたが、そんなものはどこへ飛んで了つたか知れない、所々の官署へ訪問しても飯の上の蠅を追ふ樣にされたものだが、今日は此の決議文に對しても總理大臣の立派な祝辭を頂いたほどだから、よほど期が熟して來たのです、私の名で御呼びして皆さんがこんなに大勢お集まり下さらうとは夢にも思はなかつた、これも只管時勢がかうなつて來たのだと、感謝に堪えません只ありがたうではすまぬから、どうか皆樣も益々進歩して私の樣に年を取るほど樂しく喜ばしく體もお丈夫におなり下さる樣に」と云ふ優しい然かも八十三歲とはとても思はれぬ元氣な先生の挨拶がありました。

當日の出席者は左の通りでありました。伊藤きた子(婦女新聞)羽仁もと子(婦人之友)服部桂子(萬朝報)西川文子(新眞婦人)仁科節子(家庭週報)河口正子(女子靑年界)竹中繁子(朝日新聞)中平文子(中央新聞)大澤豐子(時事新報)野口せい子(新女界)柳八重子(讀賣婦人附錄)小橋三四子(同上)海老名みや子(新女界)守屋東子

(婦人新報)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

演說會スケッチ

立石　蔦枝

○五月十五日神田青年會館に於て開かれた本社の婦人問題大演說會は 餘程の 盛會でありました。

○日本婦人運動の將來（西川文子）

先生は日頃本誌に見る所の婦人の抱負を說き日本婦人の自覺は男子を凌ぐまでの奮闘があつて欲しい。それが婦人の位置を高める所以である。私共は其目的實現に盡す爲のそれであるとのお說御尤千萬。

○女優風俗の惡影響を論ず（青柳有美）

女子中獸論者の先生であれば相變らず女子の罵倒は免かれぬ。要するに餘りお腹の虫も喜こびませんでした。何がさて自覺婦人にして先生のお說に反感を抱くやうなお方は有るまいと思ひます。女子の短所は日々先生の御賢眼に依つて罵倒されつゝあるのですから、宜しくそれを善改すれば先生は私達婦人の、親密なる注意者ではありませんか？。

○新らしい良妻賢母（高野重三）

先生は生物學上から女子は男子に劣つて居ない。女子も男子同樣の働きは出來る。唯在來の習慣性が女子をして男子より低いものだと想はしめた所以である。卽ち徹底した女子の自覺は男子を凌ぎ得る。然し女子の本質はあくまで女子の本質として守られねばならぬ。其本質を理解しての自覺婦人は所謂新しい良妻賢母の本質であるとのお說同感は云ふも更なり。

○女子が參政權を得なば（平木白星）

英國婦人參政權運動を例に引き出し、女子の暴行運動は必ず未婚者に多く、それは生殖欲の突發であるから、若し自分をして英相たらしめば、殖民地より其欲望を充たすだけの男子を輸入して鎭撫の術は容易である。卽ち家庭的の女にして其列に加はつた者を見ないと說き、最後に日本の婦人は比較的この生殖欲の滿足があるからそれの突發を見ないのである。卽ち參政權運動などを見ない理由である。若し女子にして斯かる運動を開始するなればそれは徹底しない一時の身體異狀の爲であるとの御高說。或はこれが新らしい自覺か？……

○私の要求する女（與謝野寬）

歐米に比して日本の女子は解放的である。其自由を與へられたる日本婦人間に何故歐米以上の活動を見ないかは、大いに疑はしい問題である。要するに在來の日本の習慣が、女子は男子より一段低きもの、やう解せられて居る。それは女子自らが其位置を低くからしめた所以であらうと思ふ。何故女子は男子同樣の活動を起さぬのであらう。女子の活動は徹底した自覺がなければならぬ。歐米は何うであらうが日本は日本の空氣がある。それに就て過去の歷史を省みる必要はない。唯目下の新らしい自覺に進めばよいと說きて終に極端なる伊太利未來派の說に及ぶ。次ぎに現代の教育を受けた女子は凡て新らしい女である。此新らしい女は男子同樣、自我を實現する責務がある。そして人間界に男女の區別なきまでに女子の進域が認めたい。然して今まで低しと認められた女子は尋に當るに於て男子よりは一層の難事と云はねばならぬ。其難事を浸すには婦人運動が非常に突飛に感ぜられる。又其創業の運動は突飛でなくては成功は出來ぬ。或は狂氣沙汰であつて欲しい。其新らしい冒險が狂氣であるなれば、飛行機に乘る冒險も狂氣である。然し人間は飛行機の進步を賞讚するではないか、此に於て婦人の冒險なるのも賞讚に價するではないか。其れが婦人間の常事となつて社會に突飛視せられない程に、新らしい思想、新らしい自覺の活動が見たいものである。如何なる婦人だとて、次第に退化する

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

亡國婦人を學ぶのでなからう。所謂新らしい女は飛行機式の活動を希望すとのお說。快哉は此に於て止まる所を知らず、言はん哉〳〵。

○右に述べたのは私の耳に響いた斷片の說でありますが、其解釋に就ては各自の心にお任せすることゝします。さて斯う云ひ來つた所、私は今回の演說會は何故に婦人ばかりで開き、充分新らしい自覺の說明を與へなかつたかといふことを遺憾とします。次回よりは出來得る限りさう願ひたいものだと思ひます。然らば汝は演壇に起つて充分新らしい自覺の說が述べられるかと問はれんか？………えゝ〳〵やりますとも〳〵。私の自覺した說は本誌でもお答へもしませうし、又次回の演說會に於て登壇のベストをお目にかけませう。

婦人問題演說會の印象

てんがう

▼多大の希望と興味をもつて期待して居た本社主催の婦人問題演說會は、新綠涼しき五月十五日、神田青年會館に於て開かれた。土曜ではあるし、天氣が馬鹿に宜いので、今日はキッと盛會だらうと思つて居ると、果して來るわ〳〵、定刻前既に聽衆が押しかけて「早く開けろ」と云ふ騒ぎ。

▼氣の早い聽衆は早や拍手して開會を催促して居る。そこで早速「開會の辭」は小口みち子さんの落ついた、靜かな聲で述べられ、こゝにお待ちかれの幕は開かれた。

▼劈頭立たれた西川文子さんは「我國の婦人運動」と題して、過去及び現在に於ける、我が新眞婦人の運動を眞摯な態度で述べられ、最後に婦人の自覺を促して拍手喝采裡に降壇。

▼續いて「女研究者」として、或一部に其の名を知られてゐる青柳有美氏が立つて、例のお釋迦さんの樣な頭をして、言葉面白く、さき程述べられた西川さんの說を片つ端から批評し、破壞し、其の餘沫は飛んで女優の罵倒となつて、無暗に大向の聽衆を喜こばせた。

▼青柳さんの話で幾分ダラけた會內の空氣は高野重三さんの演說で回復され、遺憾なく緊張して來た。高野さんと云へば誌上に於て既に讀者諸姉の御存知の方であるが、先生のサイエンチフイクな、進化論上より觀たる男女の關係優劣は微を究め、細を悉し、然も秩序整然、立論堂々、眞に稀に見る大演說であつた。

▲次に平木白星さんが瀟洒たる風采を壇上に運んで、先づ前提として英國に於ける女子參政權運動の沿革運動方法等を論述せられ、後英國の小說家によりて作られたる「女子が參政權を得なば」といふ小說の梗概を朗讀風に說述せられ最後に「女子參政權運動は性慾に胚胎す」と喝破して降壇せられた。私は全然此の說に對しては贊同する事が出來ぬが、然し中々有益な且つ興味ある講演であつた。

▼もう時計は午後の四時を指して居る。聽衆はやゝ倦怠の氣を帶びて來た。然し此の疲勞も倦怠も與謝野寬氏の登壇に及んで、丁度一服の淸涼劑を投ぜられたかのやうに跡方もなく消へ去つた。先生の演說は文學者にあり勝な斷片的抽象的の論ではあつたが、其の熱烈なる口吻は聽者をして感動せしめずんば止まざる慨があつた殊に生活力を說き、生の飛躍を叫んで未來派の思想を高調せられた時には、聽者は全く醉はされて、唯譯もなく拍手するのみであつた。實にこれは當日の演說中私にとつて最も深きインプレッションを與へたものであつた。

▼辯士の演說は全部終り、定刻の五時は來たので、平澤福子さんが簡單に閉會の辭を述べられて、かくて無事に閉會を告げた。

▼尙、當日演說して頂く筈であつた、高島、生田、內ヶ崎諸先生が御多忙のため欠席せられ、爲めに親しく謦咳に接する事が出來なかつたのは私等一同の深く遺憾とする處であつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

演說會から得た感想

久留　天豪

一

現今世界に於ける社會問題中、婦人問題と勞働問題とは縦横を貫く東西二大關であるといふ事が出來る。何かにつけて遲れ勝である我國では、幸か不幸か兩問題共未だ將來の問題で、今日の處先づ表面だけは極く靜かな樣であるが、然し近き將來に於てこれが共に競ひ起ることは私の信じて疑はざる處である。

二

去る十五日、新眞婦人社主催で開かれた婦人問題大演說會は實に近頃に無い意義ある有益な會であつた。殊に聽衆中に多數の——約四分の一——婦人が居られたのは私の衷心喜びに堪へざる處であつた。

然し乍ら、私の最も遺憾に堪えなかつたのは講演者の殆んど凡てが男子ばかりで、當日講演者として壇上に立つて、女子の爲めに氣を吐かれたのは、僅かに四川夫人獨りに過ぎなかつた事である。私は四川夫人の勇を賞すると同時に他の諸姉の今一層の奮起を望まざるを得ない。

演說の目的は自己の思想を聽者に傳へしむるにあるから、聽者をして感動せしむる事が最も肝要である。此の意味よりしても私は婦人問題に對しては婦人が自から立つて、叫ばなければ到底聽衆に多大の感動を與へる事は期し難いと思ふ。與謝野さん高野さん其の他何れも有益な講演であつた、然し私は與謝野寛さんよりも晶子女史、高野さんよりは其の奥さんの感想でも拜聽したかつた。私は更に更に新眞婦人諸姉の痛烈なる叫を聞きたかつたのだ。

三

我國には未だ治安警察法が嚴存してゐて、婦人の政談演說傍聽を禁止して居るから、勿論そういう會には出席出來ぬが、然し出席傍聽の自由を有する學術文藝等の講演會に於ても婦人の出席は極々僅かである。所謂萬綠叢中紅一點位が關の山だ。イヤ〳〵多くの場合皆無だと云つた方が一層當つてゐるであらう。

次に婦人が多く購讀してゐる雜誌も多くは畫報や、さもなくば俗惡なる種類のものである。私は何も新眞婦人の提灯持をする譯ではないが今日の處敎育ある婦人の讀むべき雜誌は新眞婦人其の他一二のものを措いては他にない樣に思ふ。然るに案外かゝる主義主張ある立派な雜誌は歡迎せられないで極く低級なものが喜こばれる現狀である。聞けば新眞婦人の購讀者の如きも、多くは新思想を有せる男子、特に現在高等敎育を受けつゝある靑年に多いとの事である。かゝる事では婦人は智力に於ても常に男子に劣つてゐる者となるであらう。

四

私は昨年來我國唯一の勞働團體である友愛會に入會して微力ながら勞働者の地位改善のために盡してゐる。かゝる譯で比較的多數の勞働者と接近し、互に胸襟を開いて快談する機會を多く持つてゐるのであるが、私が驚ろいたのは案外に自覺せる勞働者の多數ある事である。卽ち彼等自覺せる勞働者は常に太陽や中央公論第三帝國等を讀み、意味の分らない處は尋ねたり、又ローマ字を敎へてくれと賴みに來たりするのである。

私は未だ多數の婦人に接して、親しく其の思想を究めた事が無いから、素より斷言は出來ぬが、或は勞働者の方が婦人よりも自覺してゐる者が多くはなからうかと思つて居る。

然し乍ら兩者共に我國の將來に繫る興味ある問題である。これが如何にして開幕し、如何にして演じ、更に如何にして大團圓を結ぶかは今豫め云ふ事は出來ない、私等は唯其の期の一日も早からむ事を切望して止まざる者である。

つい脫線して表題と內容とに齟齬を來した樣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊紹介

▲**短歌新講**（尾上柴舟氏著）本書は平安朝時代の、古今和歌集、後撰和歌集、拾遺和歌集、後拾遺和歌集、金葉集、詞花和歌集、千載和歌集、の第七期に分ちて短歌を學術的、修辭學的に研鑽されたもので、譬喩篇、縁語篇、懸詞篇　餘篇の四篇に分ちて叮嚀親切に講話された新しい企でゝす。（定價壹圓、本郷駒込坂下町四十八大日本雄辯會發行）

▲**車上の學問**（秋山四郎氏著）現在廣く世人が用ひては居るが、其の意味をはつきり知らない古語や故事を集め、一ち一ち其の出所と、其の意味とを、分り易く面白く書いたものである。ドンナに忙しい人でも、此の書をポケットに入れて出で、車の上や、電車の中でチョイ〳〵見て置けば、うつかり古語や古事の意味を取り違へて、人に笑はれずに濟むことであらう。著者秋山氏は漢學の造詣深い人であるから、書中に誤つた解釋なぞのなきとは、元より云ふまでもない（四十五錢、東京京橋區銀座一の廿二　大日本圖書株式會社）

▲**春秋の哲人**（野村隈畔氏著）六合雜誌社から出て居る十錢本宗教叢書の第四編として出版されたもので、著者は凡例の中に「孔子の倫理思想に就てはその解釋に獨得の新機軸を出した積りである、余自身亦深い確信を持つてゐる」と述べてある。孔子を研究せんとするものは、是非とも此の自信ある作をも一讀せねばならぬ（十錢、東京市芝區三田四國町二の六、六合雜誌社）

▲講演資料**逸話集**（大日本雄辯會編）古今東西、有りと有らゆる面白い逸話を集めたもの、見本として書中の一つを紹介しておきませう。

マッシユー　ヘンリーの話に曰く

「私はこう云ふ夫婦の話を聞いた事がある、それは夫婦共兩方がせつかちな人であつたが、互ひに一つの約束を交して、そして其の約束を履行する事に依つて、圓滿に生活して行つた――其の約束と云ふのは兩者同時に決して怒る可らざる事」（五十錢、東京市本郷區坂下町四八、大日本雄辯會）

▲**兒童教養相談所**　日本兒童學會にては、今回、乙竹、唐澤、高島、倉橋、富士川、三宅、下田の諸學者を顧問とし、ドクトル三田谷啓氏を主任として兒童教養相談所を設置し、異常兒童と然らざるものとを問はず、其の教育及び養護の方針職業の撰擇、其他實際上の要項に就きて、相談に應ずべしと云ふ。兒童につきて相談せんとする人は、先づ其要旨を書面又は口頭にて同所へ問合せらるべし（但し返信料添附の事）（本郷西片町十）

▲**美と女と**（青柳有美氏著）著者は獨創的かつむじまがりか何でも人氣のない人を賞讃したり、月並でなさ相な事を云ふのが得意であるらしいが、之れは其人に大に德とせられていゝ事だと思ふ。此書は女博士兼美博士兼性慾博士兼人類博士の四博士を請求する爲の博士號請求論文だと云つて著者自から云つて居られる、其如何に博學多才なるかを示したものである。（定價壹圓貳拾錢、發行所麹町區有樂町一ノ四、實業世界社）

▲**毒藥を讀む**（松本宵峯氏著）發行者からの御手紙に

「毒藥」は一昨年から昨年の五月までの著者の實生活で、少しも作爲されない處が面白いのでございます。此頃名古屋では大變な騷ぎだ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

そうでございます。「毒藥」を與れとか、著者を殺せとかつて。内田靜子（假名）は、接吻の度數が多すぎるとか、本當に心中するつもりではなかつたとか、一生懸命言ひ譯してゐるそうにございます。津浦俊子（假名）のお父うさんは、男泣きに泣いてゐられるそうでございます。斯ふいふ書物を發行する事は、よい事か惡い事か。すまないやうな氣もいたします。」

と云はれたとほり此著は中京に於ける若い新聞記者（著者）と靑鞜にかぶれた新らしい婦人と云はれる令孃との間に起つた戀物語りを描いたもの。美くしい戀が悲慘に破れてまだ其のきづの癒えぬ。著者に熱烈に戀した新らしい一婦人は、嘗て自己が多くの男子をしよいなげなして狂せしめたり、世を棄てさせた報か、今度は自己がはねつけられてとう〳〵毒藥で自殺したのです新聞記者生活もよく寫されてゐるし、若い男女の思想も數限りなく往復された手紙の中によく現はれて居る。不思議の戀のなぞもよく描いてある。此著に現はれた編輯長の靑柳さんは親切なよく解つた、眞面目な懐かしい人に現はれてゐる、恐らくそれが本當なのだらう。（定價九拾五錢、發行所本鄉四丁目、牧民社）

表紙畫募集

本誌の表紙圖案を募集いたします。表紙に採用したるものには五圓御禮致します。其他口繪、スケッチ等の御寄稿も歡迎致します。

和歌、俳句、募集

和歌、俳句、感想文も募集して、それ〴〵の諸先生に御撰擇を願ひ、賞金を送ることにいたします、盛んに御投稿下さい。

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人
(2) 家庭の選擇に迷ふ御婦人
(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人
(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後五時より御出で下さい。

なほ右の件につき手紙で御相談下されば、誌上で御答へするをにいたします、七月號よりは大改頁を加へ一字一文もかりそめのものはのせないつもりです。これまでだつて決して不勉强であつたわけではありませんが、尙一層勉强したいと愿ひます。

新眞婦人定價表（每月一回一日發行）

一冊（郵稅共）	拾壹錢
半年分（郵稅共前金）	六拾錢
一年分（郵稅共前金）	壹圓拾錢

御注意

●註文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵劵代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正四年五月廿八日印刷納本
大正四年六月一日發行

本鄉區駒込林町二〇六番地
發行兼編輯人及印刷人 西川文子

本所區香場町四番地
印刷所 凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄉區駒込林町二百六番地
新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京（二四五五六）

簡易 美顔術箱

五種携帶用美術箱入　特價金參圓五拾錢　送料金拾八錢

内容
- マツサージ、ルーラー　一具
- カツピング、カツプ　一具
- フエシアル、ブラシユ　一具
- マツサージ用クリーム　一瓶
- ハイジエニツク、クリーム　一瓶
- 使用說明書　一部

美顔術が美容と健康に偉大の効果あるは今更申上ずとも既に一般の事實です、唯口惜いのは遠隔の地に御住ひの爲に思ふ儘この幸福を都人と同樣お受け遊す事の出來ぬ一事です、今回右の事情に鑑み何人にでも簡易に東京にてお試みになると同じ効果ある美顔術箱を御分ち致します

効力　にきび、そばかす、吹出物は勿論お顔のしわをのばし常に生々たる自然の色艶を出す

○說明書二錢切手封入あれ

深き自信を以てお進め致します

お若い方に殊に御婦人にニキビ、吹出物の出來ました位醜いものは御座いません、其に付て私共でも商賣柄の責任上常に非常に苦心をいたし良藥もがなと存じて居ました所今回幸にも其目的を達し、偉大なる効力ある逸品を得まして皆樣に御報告いたす事を心から喜んで居ります

特長と効力

本品は普通藥品と其類を異にし、未だ日本に無い化粧用のクリーム體になつて居りまして、ニキビ、ソバカスを全治するは勿論、ナマヅ、メムシ、ハタケ、赤鼻等にも驚く可き効驗を有して居ます、其上冬分あれ止用として二重の効果があります

ニキビ取用 理容クリーム

（アルミニユーム容器入）　一罐 金五十錢 送料八錢　特製 金壹圓 送料共

東京新橋竹川町十二、美顔術婦人御化粧所　理容館

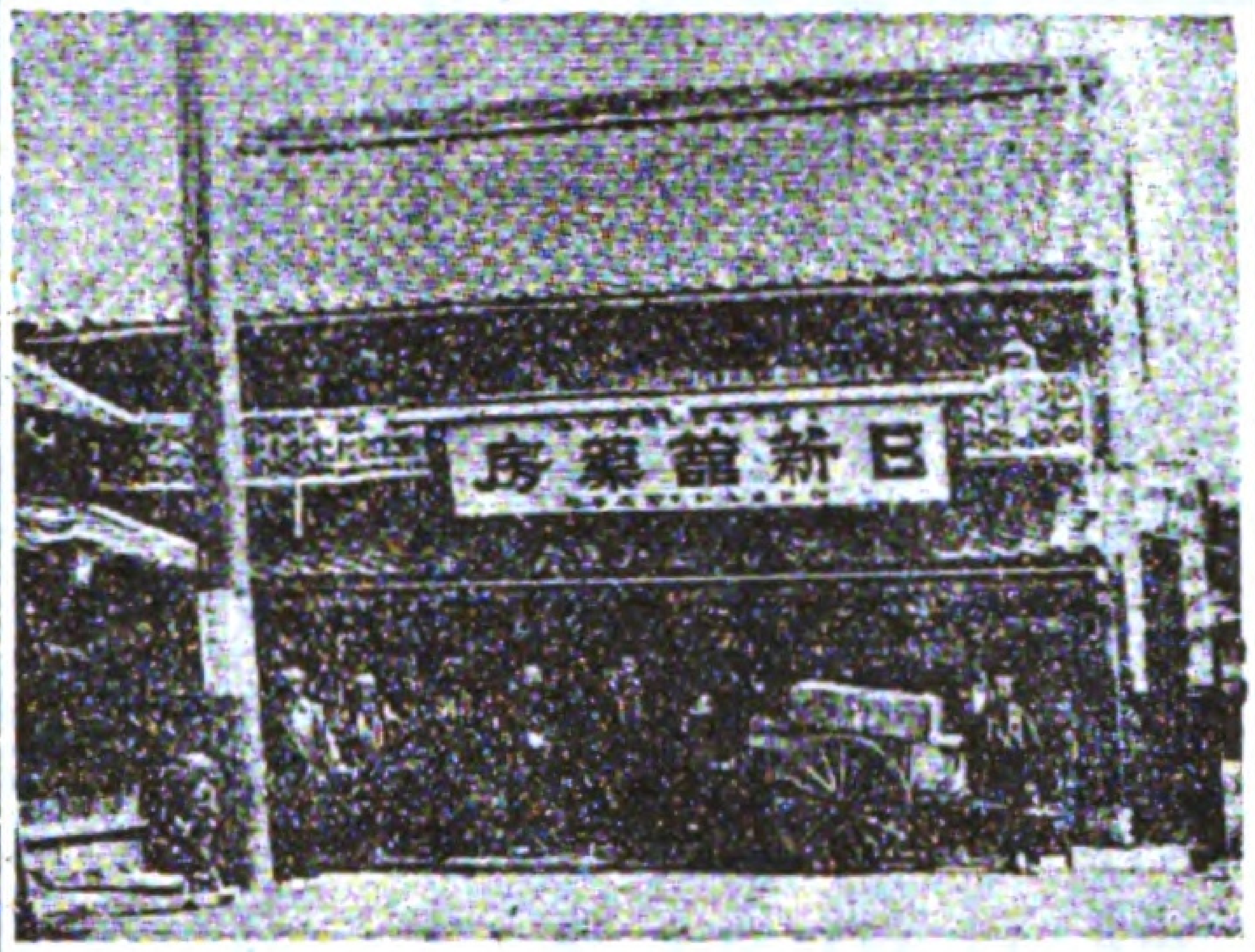
電話新橋一五一九
振替東京一四一〇〇

陳者當館要用賣藥を發賣し、より既に三十餘年今や全國顧客を網羅せり顧れば當館は其昔より大廣告を以て人心を收攬せんとするが如き從は採らざりき。人の弱點に衡き入りて名利を得んとする一派あり世之を呼んで人氣取となす豈に單に廣告社會のみに限らんや然し所謂人氣なる者は瓦斯に掛けたる湯の如く急に冷えて頼みがひなきぞ是非もなし故に其行を陋とするは勿論覆轍に鑑む可や切也當館此心を以て江湖の諸君に見えんとし今般下に列記の賣藥を高覽に供せり何なりと御入用の物あらば陸續御注文あらん事を乞ふ尙ほ御不審の點は遠慮なく御照會せらるべし

東京神田五軒町十九番地

本舖日新館藥房

電話下谷長五四六番
振替東京壹九貳四六番



藥名	効能摘要	定價
一、色白新劑（いろしろくなるくすり）	ありふれたる化粧水にあらず强烈なる色白劑を配合せる化學的新劑也又優雅高尙なる芳香幽に薫蒸す	並製 壹圓貳拾錢 特別製 貳圓貳拾錢
二、理學證明 毛生新藥（ヘアーグロース）	禿頭病やけどのあと等凡て毛のあるべき處になき人用ふれば遂に蒼々と發毛す無毛患者迷はず試みよ	小瓶 壹圓貳拾錢 中瓶 貳圓貳拾錢 大瓶 五圓參拾錢 特製 拾圓參拾錢
三、腋臭必治劑（わきがくすり）	傳染と遺傳とを問はず如何程の難症わきがにても病源を絕對に變質せしめて再發等の憂毫もなし	小劑壹圓八拾錢輕症用貳圓八拾錢 重症用五圓八拾錢 慢性症用特別製分拾圓八拾錢
四、月やくおろし 通經劑	無害で苦なく下る但し血塊症には特製を用ひよ又用心に服せば月經閉止せず▲子宮病血の道をも治す	壹劑九拾錢 貳劑壹圓六拾錢 參劑貳圓貳拾錢 特別製貳圓九拾錢 頑固症用特別製分五圓參拾錢
五、美容やせる藥（ヨードチリン）	むく／＼と肥えたる人。のぼせ症卒中症等の人々之を用れば適度にやせ永世美容健康を保つことを得	壹劑 參圓貳拾錢 貳劑 六圓拾錢 特別製 九圓拾錢
六、補血增進 ふとる藥（ヌクレイン）	貧血症の人肺病肋膜其他病後の恢復又老後の衰勞等に用ふるを適當とす	壹劑 參圓拾錢 貳劑 六圓拾錢 特別製 九圓拾錢
七、淋病新藥 淋滅（りんめつ）	淋病消渇の病源たるゴノコッケンを滅殺すべき新藥を主劑として配合したる斯病唯一の特効藥なり	壹劑 壹圓拾錢 貳劑 貳圓拾錢 特別製 四圓拾錢
八、梅毒新藥 ドクトル	一身は更なり子々孫々に傳はり一門病魔に苦しむ厭ふべき難症梅毒も悉く病毒を下し後に遺ることなし	壹劑壹圓拾錢 貳劑壹圓九拾錢 參劑貳圓六拾錢 特別製五圓拾錢
九、生殖器病新藥 トニチン	種々の原因より來れる神經衰弱陰萎病生殖器障害諸症不姙症發育不全等の良藥として普く稱贊せらる	試用劑貳圓輕症用五劑九圓五拾錢 重症用八劑拾四圓五拾錢 慢性症用拾參劑貳拾參圓
十、癩病新藥 レプロイス	らい病も一種の黴菌が作用すとの斷定を基礎として創製したる斯藥中最も進歩せる特効藥なり	壹劑 五圓拾錢（三十日分） 特別製 拾圓拾錢（七十日分）
十一、あざとり藥	あざ。入墨。ほくろ。そばかす。なまづ。いぼを無害で綺麗に除去する特効藥なり	試用劑壹圓拾錢 小劑參圓拾錢 大劑五圓拾錢 特別製拾圓拾錢
十二、眞正色白 ベーアス石鹼	多量の色白劑を含めるを以て直に漂白作用を營み皮膚を軟密艷美ならしむる最新發見の英國輸入品也	壹個 八拾五錢 參個 貳圓參拾錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

腦病精神病專門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

●らい病

患者と血統者に急告す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遅れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二 福田秋水

腦神經精神病

東京赤坂 帝國腦病院改

青山腦病院

院長ドクトルメヂチーネ 齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長 電芝二七四五

電芝二六六五

電芝三六七四

皮膚病一切 たむしの妙藥

タムシン

東京市京橋區入舟町四丁目

本舗 橋本進世堂

腦病精神病專門

東京田端

東京腦病院

電話下谷二二〇二番

院長 後藤省吾

醫學士 黑澤良臣

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女應用 成美液

天性色黒き人。日にやけて黒き人。海水又溫泉にて黒く成つた人。吹き出物の跡の黒き人。本劑を用ひれば色を白くするは勿論。皮質を艶麗ならしめ。何時も綺麗に美容を保つは本劑の特色にて。皮膚病學に於て既に定論ある確實なる美容劑なり。殊に、付ければテキメン色白くなり七日付ければ見違へる程白くなる。

定價小瓶十二錢◎中瓶貳拾五錢◎大瓶五拾錢◎特製濃液一瓶金壹圓也送賃二錢大四錢特八錢(切手一割增)

わきが藥

本症は頗る惡臭を放ち他人に接近するをきらはれ有爲の美男子も**交際**を缺き又妙齢美婦女も**良緣**を失ふが如き**不幸**に陷ゐる人澤山あり之れを救はんが爲數年苦心して得たる新發見藥を世に紹介す多少に係はらず本症のある人は早く用ひて幸福の人となられよ

小包卅錢中包五十錢大包壹圓二十錢送二錢切手一割增

子宮サック

ゴム製にして婦人衛生上必要の良器之を用へれば淋毒梅毒の傳染を防ぎ月經時には經水の漏洩を防ぎ立居を便ならしむ委細は本品に添ある能書◎病院御用指サック二個拾錢送二錢注意御注文は成るべく振替にて東京四六七壹番寶順堂宛御拂込奉願候

甲種一個一圓◎乙種七十五錢丙六十錢送二錢

◎月やくの

止つた時程婦人の一大事はありません若し姙娠であれば猶身體に異狀が起る爲食物にまで變りがあります又不順でも閉止でも藥療を怠れば子宮病其他種々の病を誘發す故に月經あるべき時期に無くて逆上頭痛其他身體に障り起つた時は一日も早く專門の奇藥流經散を用ひなさい此藥なら胃腸を害す副作用もなく安全に流下し身體。。。ほんとに不しぎの樣も健全になる事です藥代は一週分五十錢半月分壹圓特製貳圓送料不要(切手代用一割增)

東京神田區五軒町大通 振替東京四六七一番 **寶順堂**

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新しき家庭には常に新鮮なる食物を要す風味會は斬新なる方法を以て常に新しき食物を御家庭に供給致候

顧問 松原新之助君 三宅秀君

風味會

麻布區材木町七番地
電話芝三一四九番

委細御電話又ははがきにて御問合を乞ふ

家傳靈藥

ぢの藥

自宅ニテ安全ニ治ル

●イボ痔●痔座●裂痔●痔出血●脫肛痔●痔瘻●不灼不切現狀の儘で治療奏効頗る顯著の**家傳**靈妙藥あり「ハガキ」にて申込有ば病原理由自宅自療法の說明書呈す

●東京市京橋際疊町壹番地

●製藥本舖 **小松盛林堂**

電話京橋二九七

產婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衛生團 產婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長 產婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ケ谷三百五十九番地

產婆部 大崎支局

東京市麴町區有樂町一丁目三番地

ラヂウム專門療院

電話新參〇壹六番

院長 ドクトル從五位 渡邊鼎

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花柳病豫防液
ゼニール

精錡水創製者

岸田吟香

登録商標

岸田目薬 精錡水

彼ノ有名ナル米國大博士ヘボン先生直傳ニ係ル眼病一切ノ靈藥ニシテ現代我ガ國ニ於ケル目薬中ノ「オーソリティー」ナリ

專賣特許

旅行家は必ず本劑の携帯を忘れ給ふな

「ゼニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を裝置する安全注入器は携帯至便小形堅牢なる特許品にして秘密使用に恰適す、花柳病の恐ろべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは此「ゼニール」本店は勿論何處の取次店も大に歡迎す決してきまりわるがり又は僅の金をおしみ給ふな、特に夫に病毒ある妻君は是非此藥を用ひられよ、說明書あり申込あれ

婦人は藥液ばかりでも間に合ひます

定價

特製（器械 藥液）	一組	二圓
甲種（器械 藥液）	一組	壹圓五十錢
乙種（器械 藥液）	一組	七拾五錢
藥液ゼニールのみ	一瓶	廿五錢
送料	各	八錢

發賣元

東京銀座貳丁目

精錡水本舖 岸田吟香

振替東京四七八七番

電 京六一五番

文學博士 高楠順次郎先生閱
帝國大學講師 文學士 木村泰賢先生著

印度六派哲學

菊判六百五十頁
定價二圓三十錢
郵稅十二錢

六派哲學（數論、瑜伽論、勝論、正理論、ミーマーンサー、エーダーンダ）は印度哲學の代表的思潮にして一元論二元論多元論の爭汎神論有神論無神論の別機械論目的論虛無論の主張等一としてこの中に含まれざるはなく又これを學科の性質より見れば物理學論理學純正哲學宗教哲學實際哲學等悉くこれを網羅せずと言ふことなし宜哉歐米の學界單に印度哲學とし言へば直に以て六派哲學を意味するが如き狀あることや然るに我國未だ嘗てこれに關して權威ある著述の發表せられたるを聞かず眞に學界の一大恥辱なりとす木村先生夙にこれを慨し研究多年漸くその完成を告ぐるや更に東京帝國大學に於てこれを講ずること一學年その間又多少の補訂を加へて遂に汎くこれを世に問ふに至れりしなり時恰もタゴールによつて今更の如く印度思想の雄大深遠なるに驚嘆する者多き貧弱なる我國の思想界に向ひ本書の如き先人未到の研究にして斯學最高の權威たるべき名著を推薦することを得たるは啻に弊社の誇たるのみならざる也

高楠順次郎先生
木村泰賢先生 共著

印度哲學宗教史

好評第二版
定價二圓
郵稅十二錢

本書は著者が印度の哲學宗教の大成は日本學界の本務なりといふ確信の上に立ちて久しく東京帝國大學に於て講述せる稿本を増補整理したるものにして斯界唯一最高の權威なり收むるところ吠陀、梵書、奥義書、經書及び諸學派の開展に渉り洵にこれ印度の根本思想を說述して盡さゞるなきもの苟も世界無比の寶庫と稱せらるゝ印度古代の文明について闡明するところあらむと欲するものは須くまづこの秘鍵を握らざるべからざる也

東京市小石川原町六 振替東京一五六八六 丙午出版社
東京小石川原町六 振替東京一三五三 鷄聲堂

本社取次書籍雜誌

西川光次郎著

- ウヰリャムブース言行錄　定價廿五錢　郵税四錢
- トロー言行錄　同
- カンベッター言行錄　定價廿五錢　郵税四錢
- 惡人研究（品切）　定價五十錢　郵税六錢
- 續惡人研究（品切）　同
- 神道綱要　定價十錢　郵税二錢
- 救世軍　同
- 心懐語　定價五十錢　郵税六錢
- 實踐道德簡易入門　定價[illegible]十五錢　郵税六錢
- 偉人の戀物語　定價七十錢　郵税八錢
- 新渡戸博士の『修養』評論　定價二十五錢　郵税四錢
- 實驗早老豫防法　定價五十錢　郵税四錢

高野重三著

- 婦人問題早わかり　定價七十錢　郵税八錢

西川文子著

婦人解放論　定價一圓　郵税八錢

西川文子著

新しき女の行くべき道　定價五十錢　郵税六錢

新眞婦人合本（自一號至十二號）　定價郵税共一圓

合本　第二卷（自十三號至二十四號）　同

西川光次郎主筆

自働道話

▲四六倍形八頁
▲一部郵税共三錢五厘
▲一年同卅錢
▲毎月十日發行

平易簡明に、實踐道德、新道德を說く雜誌にして、五月號の要目左の如し。

日常倫理△新に就職せし青年に與ふる書（西川光次郎）△淘宮一斑（竹内師水）△二宮尊德と井上正鐵（江渡狄嶺）△偉人の日常生活△幸福論（西川）△君子は獨りを愼しむ（西村卜堂）△健康問答（關愛天）

東京本郷駒込林町二〇六
振替東京二四五五六
新眞婦人社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六月一日より十五日迄

江戸趣味展覧會

（格安）反物（雜貨）見切賣出し

三越呉服店

新眞婦人第二十六號
大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正四年五月二十八日印刷納本
大正四年六月一日發行（毎月一回一日發行）

ライオン煉齒磨は

高尚で現代的！
有效で理想的！
便利で經濟的！

ライオン水齒磨は

ライオン齒磨本舗
小林富次郎
東京・大阪・名古屋

定價金拾錢